

2 1 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事

< 意 匠 >		< 構 造 >		< 電気設備 >		< 機械設備 >	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A - 01	図面リスト (1)	S - 01	構造図1特記仕様書	E - 01	電気設備特記仕様書	M - 01	機械設備特記仕様書1
A - 02	特記仕様書1	S - 02	鉄筋コンクリート 構造配置標準図	E - 02	備蓄倉庫電気設備図	M - 02	機械設備特記仕様書2
A - 03	特記仕様書2	S - 03	鉄骨構造標準図	E - 03	本館1階ト イレ改修 電気設備図	M - 03	本館ト イレ詳細図
A - 04	特記仕様書3	S - 04	基礎大図・基礎標準図	E - 04	既存1 階テレビ共同受信 構内交換・構内南極通信機設備図	M - 04	備蓄倉庫 空調・換気平面図 機器表
A - 05	特記仕様書4	S - 05	小屋梁伏図	E - 05	既存2 階 構内交換・構内南極通信機設備図		
A - 06	特記仕様書5	S - 06	軸図1				
A - 07	特記仕様書6	S - 07	軸図2				
A - 08	特記仕様書7	S - 08	部材リスト 1				
A - 09	特記仕様書8	S - 09	部材リスト 2				
A - 10	配置図・付近見取図	S - 10	架構標準図				
A - 11	敷地求積図						
A - 12	職員駐車場配置図						
A - 13	職員駐車場管渠配置図						
A - 14	備蓄倉庫 仕上表・平面図・建具表						
A - 15	備蓄倉庫 立面図・断面図						
A - 16	備蓄倉庫 天井伏図						
A - 17	二倉庫詳細図(1) 削除						
A - 18	倉庫詳細図(2)						
A - 19	倉庫詳細図(3)						
A - 20	倉庫詳細図(4)						
A - 21	本館ト イレ平面図・展開図(改修前)						
A - 22	本館ト イレ平面図・展開図(改修後)						
A - 23	本館ト イレ建具表(改修後)						
A - 24	仮設計画図(1 期)						
A - 26	本館ト イレ位置図						

本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工 事 名 2 1 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理棟監工 柳 田 和 美
図 面 名 図面リスト(1)		設計 R03_03	一般建築士登録番号 2 0 0 6 6 7 号	
株式会社 フケタ設計		概代 —	建築する建築士	
代表取締役 三 関 嘉 男 一般建築士登録番号 8 9 4 7 9		図面No. A-01	一般建築士登録番号	時
本 社 栃木県宇都宮市大橋1丁目1番1号 TEL 028(522)8028		※	建築する建築士	
埼玉事務所 埼玉県熊谷市東1丁目1番1号 TEL 048(567)0116		※	元 田 草 次	
		※	二級建築士登録番号 1 2 7 4 9 号	

2 改質アスファルトシート防水	(9.3.2、3)(表9.3.1～3)			
	防水層の種類	種別	施工箇所	断熱材 [G] 防湿層 仕上塗料
3 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類	種別	施工箇所	仕上塗料
		種別	施工箇所	仕上塗料
4 塗膜防水	防水層の種類	種別	施工箇所	仕上塗料
		種別	施工箇所	仕上塗料
5 ケイ酸質系塗布防水	防水層の種類	種別	施工箇所	仕上塗料
		種別	施工箇所	仕上塗料

6 シーリング	(9.7.2、3、5)(表9.7.1)			
	シーリング材の種類 (記号)	シーリング材の目地寸法	シーリング材の目地寸法	シーリング材の目地寸法
7 防水工事施工要	(10.2.1、3)(表10.2.1、2)			
	天然石	種別	等級	形状及び寸法 (mm)
10 石工事	石材等	種別	等級	形状及び寸法 (mm)
		種別	等級	形状及び寸法 (mm)
3 外壁湿式工法	(10.2.2、3)(10.3.2、3)			
	受金物	材質	形状及び寸法	受金物の材質及び寸法
4 内壁空積工法	(10.2.2、3)(10.4.2、3)			
	アンカーの材質及び寸法	SS400 M12	あと施工アンカーの材質及び寸法等	あと施工アンカーの材質及び寸法等
5 乾式工法	(10.2.2、3)(10.5.2、3)(表10.2.4)			
	目地	一般目地	目地幅 (mm)	6以上
6 床及び階段の石張り	(10.6.2、3)			
	床石張りの裏面処理	適用する	適用しない	適用しない

7 アーチ、上げ裏等の石張り	(10.2.2)(10.7.1、2)			
	取付け工法	内壁空積工法	乾式工法	取付け工法
8 笠木、甲板等の石張り	(10.2.2)(10.7.1、3)			
	取付け工法	外壁湿式工法	乾式工法	取付け工法
11 タイル工事	(11.1.3)(表11.1.1)			
	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置	標準仕様書	表11.1.1による
3 有機系接着剤によるタイル張り	(11.3.2～4、7)			
	タイルの形状・寸法等	形状・寸法	吸水率	形状・寸法
12 木工事	(12.1.4)			
	表面仕上げ	表面仕上げの種類	適用箇所	表面仕上げの種類
2 製材 [G]	(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)			
	「製材の日本農林規格」による製材	樹種	等級	形状
「製材の日本農林規格」による製材	(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)			
	施工箇所	樹種	等級	形状
「製材の日本農林規格」による製材	(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)			
	施工箇所	樹種	等級	形状
「製材の日本農林規格」による製材	(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)			
	施工箇所	樹種	等級	形状

3 造作用集成材 [G]	(12.2.1)			
	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	施工箇所	樹種	等級
4 造作用単板積層材 [G]	(12.2.1)			
	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	施工箇所	樹種	等級
5 合板等	(12.2.1)			
	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G]	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度
「合板の日本農林規格」による普通合板 [G]	(12.2.1)			
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	等級
「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]	(12.2.1)			
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	化粧板に使用する単板の樹種名

本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工事名	2 1 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	N.0.	R02045	管理建築士	柳 田 和 美
図 名	特記仕様書2	設計	R03.03	一般建築士登録番号	2 0 0 6 6 7 号
株式会社 フケタ設計				図面 N.0.	A-03
代表取締役	三 島 嘉 男	一般建築士登録番号	8 9 4 7 9	従事する建築士	元 田 草 大
本 社	栃木県宇都宮市大井町5番1号	TEL	028(622)8828	二級建築士登録番号	1 2 7 4 9 号
埼玉事務所	埼玉県熊谷市東店1501番1号1F	TEL	048(567)0118		

[illegible]

工事名		No.	
2 1 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		R02045	
図名	設計	R03_03	管理建築士 柳田 和美
	縮尺	—	一般建築士登録番号 200667号
	図面No.	A-04	従事する建築士
株式会社 フケタ設計		代表取締役 三柴 富男	一般建築士登録番号
〒504-8501 岐阜県岐阜市大宮1丁目5番1号 TEL 026(022)8928		代表取締役 三柴 富男	一般建築士登録番号
〒501-8501 岐阜県岐阜市大宮1501番1号 TEL 048(567)0118		代表取締役 三柴 富男	従事する建築士
		代表取締役 三柴 富男	元田 草太
		代表取締役 三柴 富男	一般建築士登録番号 12749号

18

ガラス

(16.14.2~4)(表16.14.1)

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さの組み合わせは建具表及び図面による。
板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類 建具表による
型板ガラスの厚さによる種類 建具表による
網入り板ガラス、線入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組み合わせ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 建具表による
形状 平面合わせガラス 曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性 類 類 2類 類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称、特性による種類 建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 類 類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類 建具表による
性能 1種 2種
・複層ガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組み合わせ、複層ガラスの厚さ 建具表による
断熱性による区分 T1 T2 T3 T4 T5 T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分 G S
乾燥気体の種類 空気 アルゴン
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類 建具表による
日射熱遮へい性による区分 1種 2種 3種
耐久性による区分(日射熱遮へい性が2種の場合) A類 B類
映像調整 行う 行わない
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類 建具表による
ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイジングチャンネル	・建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	・建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材	・建具の製造所の仕様による

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 カ/P乳白	目地幅(mm) 平積み 曲面積み	伸縮調整 目地(mm)	防火性能
正方形	125×125	80	・	8～15	外側 15以下 内側 6以上	無し 有り
	160×160	95	・	15～25		
	200×200	95	・			
	320×320	95	・			
長方形	250×125	80	・			
	320×160	95	・			

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁内金属枠及び補強材 設ける(形状 図示)
力骨 材質 ステンレス鋼(SUS304)
寸法 径5.5mm
形状 はしご形状補筋及び単筋
化粧目地モルタルの色()
金属製化粧カバー 材質 ステンレス製 アルミニウム製
寸法 図示
形状 図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
ガラスブロック製造所の仕様による 図示

19

ガラスブロック

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
取付方法 層間方式 柱・梁方式 方立方式 スパンドレル方式
性能
耐震性能
水平方向(kH) 垂直方向(kV)
1.0 0.5
・
耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)
支点間距離(h) 耐風圧性能 状態
4m以下 たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。
4mを超える 耐風圧性能 状態
層間変位追従性
建築物の構造種別 層間変位量(h=支点間距離) 変位後の状態等
鉄骨造 ±(2/200)×h以上 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。
鉄筋コンクリート造 ±(1/300)×h以上
鉄骨鉄筋コンクリート造
構造用ガasket
適用する(施工箇所 図示)
材質 クロロブレン系 EPDM系 シリコン系
形状 H型 Y型 C型
寸法(mm) ガラス板厚()、支持枠の厚さ()、ウェブの寸法()
断縁材 種類()
厚さ(mm)()
施工箇所(図示)
耐火材料

施工部位	種 別	規格等
ファスナー部		
取付けブラケット		
パネル目地部		
層間ふさぎ		

17

カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。
取付方法 層間方式 柱・梁方式 方立方式 スパンドレル方式
性能
耐震性能
水平方向(kH) 垂直方向(kV)
1.0 0.5
・
耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)
支点間距離(h) 耐風圧性能 状態
4m以下 たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。
4mを超える 耐風圧性能 状態
層間変位追従性
建築物の構造種別 層間変位量(h=支点間距離) 変位後の状態等
鉄骨造 ±(2/200)×h以上 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。
鉄筋コンクリート造 ±(1/300)×h以上
鉄骨鉄筋コンクリート造
構造用ガasket
適用する(施工箇所 図示)
材質 クロロブレン系 EPDM系 シリコン系
形状 H型 Y型 C型
寸法(mm) ガラス板厚()、支持枠の厚さ()、ウェブの寸法()
断縁材 種類()
厚さ(mm)()
施工箇所(図示)
耐火材料

施工部位	種 別	規格等
ファスナー部		
取付けブラケット		
パネル目地部		
層間ふさぎ		

2	メタルカーテンウォール	適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。 金属材料の種類 ・アルミニウム材 鋼材 ステンレス鋼材 (アルミニウム材の場合) 目地等 標準仕様書16.2.3による 種類 標準仕様書14.2.1) 着色 標準色 特注色 映像調整 行う 行わない 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 標準仕様書17.2.1による 見え掛り部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状 カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ±10mm 水平方向 ±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ±3mm 目地の心の通り ±2mm 目地両側の段差 ±2mm 各階の基準墨から各部材までの距離 ±3mm シーリング材の種類 ガラスの取付け ・シーリング 種類 形状、寸法等 図示 ・構造ガasket 形状、寸法等 図示 3 PCカーテンウォール 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。 材料 コンクリート 種類 () 品質 設計基準強度(Fc) 30N/mm2 スランプ 12cm 単位水量の最大値 185kg/m3 鉄筋 種類記号 SD295A(・D13・D10) 補強鉄線の径(mm) 3.2 4.0 5.0 6.0 網目寸法 シーリング材の種類 耐火目地材 先付けの材料 ・表面仕上げ材 ・セラミックタイル ・石材(・花こう岩 大理石) ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 辺長 ±3mm 対角線長の差 ±5mm 版厚 ±2mm 開口部内法寸法 ±2mm PCカーテンウォールの仕上げ 構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 製作 配筋 図示 取付け カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ±5mm 目地の心の通り ±3mm 目地両側の段差 ±4mm 各階の基準墨から各部材までの距離 ±5mm ガラスの取付け ・シーリング 種類 形状、寸法等 図示 ・構造ガasket 形状、寸法等 図示
3	PCカーテンウォール	適用は以下によるほか、カーテンウォール図による。 材料 コンクリート 種類 () 品質 設計基準強度(Fc) 30N/mm2 スランプ 12cm 単位水量の最大値 185kg/m3 鉄筋 種類記号 SD295A(・D13・D10) 補強鉄線の径(mm) 3.2 4.0 5.0 6.0 網目寸法 シーリング材の種類 耐火目地材 先付けの材料 ・表面仕上げ材 ・セラミックタイル ・石材(・花こう岩 大理石) ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 辺長 ±3mm 対角線長の差 ±5mm 版厚 ±2mm 開口部内法寸法 ±2mm PCカーテンウォールの仕上げ 構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 製作 配筋 図示 取付け カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ±5mm 目地の心の通り ±3mm 目地両側の段差 ±4mm 各階の基準墨から各部材までの距離 ±5mm ガラスの取付け ・シーリング 種類 形状、寸法等 図示 ・構造ガasket 形状、寸法等 図示

18 塗装工事

①	材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・仕上表による
		(18.1.3)
②	素地ごしらえ	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・仕上表による
		(18.2.2~7)
3	錆止め塗料塗り	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・仕上表による
		(18.3.2、3)
④	塗装	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・仕上表による
		(18.4.1~18.14.2)

内装工事

19	接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.2.2)
2	ビニル床シート	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.2.2、3)
3	ビニル床タイル	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.2.2、3)
4	特殊機能床材	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.2.2、3)
5	ビニル幅木	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.2.2、3)
6	ゴム床タイル	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.2.2、3)
7	カーベツト敷き	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.3.2、3)(表19.3.1)
8	合成樹脂塗床	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.4.2、3)(表19.4.4~8)
9	フローリング張り	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.5.2~6)(表19.5.1~6)

外装工事

10	量敷き	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.6.2)(表19.6.1)
⑬	せっこうボード、その他のボード及び合板張り	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.7.2、3)(表19.7.1)
12	壁紙張り	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.8.2、3)
⑬	断熱材	接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示
		(19.9.2、3)

工 事 名		No.		管理建築士	
21 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		R02045		柳 田 和 美	
図 名	特記仕様書4	設計	R03.03	一般建築士登録番号 200667号	
		編尺	—	従事する建築士	
		図面 No. A-05		一般建築士登録番号	
株式会社 フケタ設計		承認	特 認	従事する建築士	
代表取締役 三 柴 富男 一般建築士登録番号 89479		元 田 草 大			
本 社 岐阜県岐阜市大塚1丁目5番1号 TEL 028(622)8928		二級建築士登録番号 12749号			
地玉事務所 岐阜県岐阜市南1501番1号1F TEL 048(567)0118		元 田 草 大			

20
コンクリート及びその他の工事

1
フリーアクセスフロア

フリーアクセスフロア及び表面仕上材 (20.2.2)

施工箇所 構 法 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 (N) 表面仕上げ材 備 考

・置敷式
・支柱調整式

・500×500
・0.6 G

・1.0 G
・0.6 G

・3,000
・5,000

・帯電防止床タイル
・タイルパット

・置敷式
・支柱調整式

・500×500
・

・1.0 G
・0.6 G

・3,000
・5,000

・帯電防止床タイル
・タイルパット

フリーアクセスフロア施工の試験方法
標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)～(d)による
寸法精度 標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)～(c)による
工法及び上記以外はフリーアクセスフロアの製造所の仕様による (20.2.3)

2
可動間仕切

パネル材のホルムアルデヒド放射量 規制対象外 (20.2.3)

3
移動間仕切

パネル材のホルムアルデヒド放射量 規制対象外 (20.2.4)

④
トイレブース

パネル材料のホルムアルデヒド放射量 規制対象外 (20.2.5)

5
階段滑り止め

材質・ステンレス製
アルミニウム製押出型材
滑り止め材 形状・ひも型・タイヤ型・材質・ゴム・合成樹脂
取付け方法 接着工法 埋め込み工法 幅 端部フラットエンド あり なし (20.2.6)

6
手すり

材質 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考

7
黒板及びホワイトボード

・黒板 区分 焼き付け 種類 ほうろう 鋼製 色 緑
・ホワイトボード () (20.2.8)

8
鏡

取付箇所 ()
寸法 (mm) 5
厚さ (mm) (20.2.9)

9
表示

・衝突防止表示 形状 (丸形 図示)
寸法 (30Φ)
材質 (ステンレス製)
・誘導標識、非常用進入口等の表示 消防法に適合する市販品 (20.2.10)

10
煙突ライニング

案内用図記号はJIS Z 8210による。
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示 図示 (20.2.11)

11
ブラインド

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.12)

12
ロールスクリーン

操作方式・スプリング式・コード式・電動式
幅、高さ 図示
材質・ガラス繊維製 合成天然繊維製 木製
品質等
その他の材料 ロールスクリーンの製造所の仕様による (20.2.13)

13
カーテン

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.14)

21
カーテンレール

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.15)

22
ブラインドボックス及びカーテンボックス

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.16)

23
天井点検口

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.17)

24
天井点検口

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.18)

25
床点検口

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.19)

26
耐震スリット

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.20)

27
くつきマット

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.21)

28
流し台ユニット

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.22)

29
旗竿

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.23)

30
旗竿受金物

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.24)

31
車止めさく

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.25)

32
フェンス

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.26)

33
プレキャストコンクリート

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.27)

34
間知石及びコンクリート間知ブロック

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.28)

35
網製書架及び物品棚

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.29)

36
屋内掲示板

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.30)

37
洗面カウンター

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.31)

38
防煙垂れ壁

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.32)

39
屋外掲示板

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.33)

40
収納家具

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.34)

41
排水工事

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.35)

42
鉄鉄製ふた

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.36)

43
グレーチング

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.37)

44
街きよ、緑石、側溝

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.38)

45
舗装工事

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.39)

46
路床

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.40)

47
路面

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.41)

48
アスファルト舗装

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.42)

49
コンクリート舗装

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.43)

50
カラー舗装

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.44)

51
透水性舗装

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.45)

52
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.46)

53
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.47)

54
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.48)

55
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.49)

56
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.50)

57
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.51)

58
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.52)

59
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.53)

60
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.54)

61
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.55)

62
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.56)

63
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.57)

64
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.58)

65
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.59)

66
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.60)

67
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.61)

68
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.62)

69
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.63)

70
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.64)

71
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.65)

72
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.66)

73
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.67)

74
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.68)

75
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.69)

76
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.70)

77
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.71)

78
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.72)

79
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.73)

80
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.74)

81
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.75)

82
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.76)

83
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.77)

84
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.78)

85
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.79)

86
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.80)

87
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.81)

88
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.82)

89
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.83)

90
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.84)

91
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.85)

92
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.86)

93
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.87)

94
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.88)

95
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.89)

96
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.90)

97
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.91)

98
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.92)

99
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.93)

100
歩道

案内用図記号はJIS Z 8210による。(20.2.94)

工事名	No.	管理建築士
21 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	R02045	柳田 和美
図名	設計	一級建築士登録番号 200667 号
特記仕様書5	縮尺	従事する建築士
	図面 No.	一級建築士登録番号 号
	A-06	従事する建築士
代表取締役 三 栗 富男 一級建築士登録番号 89479	承認	一級建築士登録番号 号
地味事務所 坂本町事務所 丁田 5 番 8 号 TEL 020(62)78928	検	元 田 草 大
地味事務所 埼玉県所沢市南沼 1-5-1 番 1 号 TEL 048(567)0118	現	二級建築士登録番号 12749 号

本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

7 半たわみ性舗装	・透水性アスファルト舗装 G ・ポーラスアスファルト混合物(13) ・開粒度アスファルト混合物(13) 配合(表22.7.1)	9 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 図(歩行者用通路)の構成及び厚さ (22.8.2、3) 図示	4 支柱	支柱材 丸太(間伐材) 図 ・真竹 (23.3.2、3) 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・図示																																																				
	<table><tr><th>ふるいの呼び名</th><th colspan="2">ふるいの通過質量百分率(%)</th></tr><tr><th>車路、駐車場</th><th>歩行者用通路</th></tr><tr><td>19mm</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>13.2mm</td><td>90～100</td><td>95～100</td></tr><tr><td>4.75mm</td><td>11～35</td><td>20～36</td></tr><tr><td>2.36mm</td><td>10～20</td><td>12～25</td></tr><tr><td>300μm</td><td>-</td><td>5～13</td></tr><tr><td>75μm</td><td>3～7</td><td>3～6</td></tr><tr><td>アスファルト(%)</td><td>4～6</td><td>3.5～5.5</td></tr></table> 基準値(表22.7.2)	ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)		車路、駐車場	歩行者用通路	19mm	100	100	13.2mm	90～100	95～100	4.75mm	11～35	20～36	2.36mm	10～20	12～25	300μm	-	5～13	75μm	3～7	3～6	アスファルト(%)	4～6	3.5～5.5	<table><tr><th colspan="2">基準値</th></tr><tr><th>項目</th><th>歩行者用通路</th></tr><tr><td>最大粒径 (mm)</td><td>13</td></tr><tr><td>安定度 (kN)</td><td>3.43以上</td></tr><tr><td>フロー値 (1/100cm)</td><td>20～40</td></tr><tr><td>空隙率 (%)</td><td>20程度</td></tr><tr><td>動的安定度 (回/mm)</td><td>3,000以上</td></tr><tr><td>透水係数 (cm/s)</td><td>1×10⁻²以上</td></tr></table> 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない ・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 フィルター層と路床の間に敷設 ・図示 舗装の平たん性 著しい不陸がないもの	基準値		項目	歩行者用通路	最大粒径 (mm)	13	安定度 (kN)	3.43以上	フロー値 (1/100cm)	20～40	空隙率 (%)	20程度	動的安定度 (回/mm)	3,000以上	透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上	<table><tr><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr><tr><td>普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)</td><td>300角</td><td>60</td><td>砂 ・モルタル</td><td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td></tr></table> 散砂層 ・砂 ・空練りモルタル	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	300角	60	砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	5 幹巻き用材料	材料 幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)
	ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)																																																							
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																							
	19mm	100	100																																																						
	13.2mm	90～100	95～100																																																						
	4.75mm	11～35	20～36																																																						
	2.36mm	10～20	12～25																																																						
	300μm	-	5～13																																																						
	75μm	3～7	3～6																																																						
アスファルト(%)	4～6	3.5～5.5																																																							
基準値																																																									
項目	歩行者用通路																																																								
最大粒径 (mm)	13																																																								
安定度 (kN)	3.43以上																																																								
フロー値 (1/100cm)	20～40																																																								
空隙率 (%)	20程度																																																								
動的安定度 (回/mm)	3,000以上																																																								
透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上																																																								
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																																					
普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	300角	60	砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																																					
・透水性コンクリート舗装 コンクリート舗装に対する基準値 (22.5.2～4、6)	<table><tr><th colspan="2">基準値</th></tr><tr><th>項目</th><th>歩行者用通路</th></tr><tr><td>最大粒径 (mm)</td><td>13</td></tr><tr><td>空隙率 (%)</td><td>20以上</td></tr><tr><td>透水係数 (cm/s)</td><td>1×10⁻²以上</td></tr><tr><td>目地の間隔</td><td>版厚の20倍程度</td></tr></table> 構成、厚さはコンクリート舗装による ・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 フィルター層と路床の間の敷設 ・図示	基準値		項目	歩行者用通路	最大粒径 (mm)	13	空隙率 (%)	20以上	透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上	目地の間隔	版厚の20倍程度	<table><tr><th>種類</th><th>部位</th><th>形状寸法</th><th>厚さ(mm)</th><th>曲げ強度(N/mm²)</th><th>横断面勾配</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr><tr><td>普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>車路、駐車場</td><td>・図示</td><td>80</td><td>5.0以上</td><td>2%</td><td>砂</td><td>色彩、表面加工 ・標準品</td></tr><tr><td>普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>歩行者用通路</td><td>・図示</td><td>60</td><td>3.0以上</td><td>1.5～2%</td><td></td><td></td></tr></table> 歩行者用通路に使用する普通ブロックは 図(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは 図(透水性コンクリート)とする。	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考	普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路、駐車場	・図示	80	5.0以上	2%	砂	色彩、表面加工 ・標準品	普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示	60	3.0以上	1.5～2%			6 芝	種類 コウライシバ ・ノシバ (23.4.2、3) 芝張りの工法 平地 目地張り ・べた張り 法面 目地張り べた張り																	
基準値																																																									
項目	歩行者用通路																																																								
最大粒径 (mm)	13																																																								
空隙率 (%)	20以上																																																								
透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上																																																								
目地の間隔	版厚の20倍程度																																																								
種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考																																																		
普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路、駐車場	・図示	80	5.0以上	2%	砂	色彩、表面加工 ・標準品																																																		
普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示	60	3.0以上	1.5～2%																																																				
半たわみ舗装(車路、駐車場)の構成及び厚さ 図示 (22.3.2、3、5)(表22.3.1)	<table><tr><th>区分</th><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>表層</td><td>半たわみ性舗装用アスファルト混合物 型(13)</td><td>40</td></tr><tr><td>基層</td><td>再生粗粒度アスファルト混合物(20)</td><td>40</td></tr></table> 試験 半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない	区分	種類	厚さ(mm)	表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物 型(13)	40	基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40	仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。	7 吹付けは種	(23.4.2)																																												
区分	種類	厚さ(mm)																																																							
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物 型(13)	40																																																							
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40																																																							
材料 浸透用セメントミルクの標準的な性状	<table><tr><th>項目</th><th>性状</th><th>試験方法</th></tr><tr><td>フロー値(ドロート)砂</td><td>10～14</td><td>舗装調査・試験法便覧(C041)</td></tr><tr><td>圧縮強度(7日養生) MPa</td><td>9.8～29.4</td><td>JIS R 5201</td></tr><tr><td>曲げ強度(7日養生) MPa</td><td>2.0以上</td><td>舗装調査・試験法便覧(C042)</td></tr></table>	項目	性状	試験方法	フロー値(ドロート)砂	10～14	舗装調査・試験法便覧(C041)	圧縮強度(7日養生) MPa	9.8～29.4	JIS R 5201	曲げ強度(7日養生) MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧(C042)	・インターロッキングブロック舗装 図の構成及び厚さ 図示	8 地被類	(23.4.2) <table><tr><th>種子の種類</th><th>発芽率</th><th>種子の量(g/m²)</th><th>備考</th></tr><tr><td>洋芝類(採取後2年以内)</td><td>発芽率80%以上</td><td></td><td></td></tr></table>	種子の種類	発芽率	種子の量(g/m ²)	備考	洋芝類(採取後2年以内)	発芽率80%以上																																			
項目	性状	試験方法																																																							
フロー値(ドロート)砂	10～14	舗装調査・試験法便覧(C041)																																																							
圧縮強度(7日養生) MPa	9.8～29.4	JIS R 5201																																																							
曲げ強度(7日養生) MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧(C042)																																																							
種子の種類	発芽率	種子の量(g/m ²)	備考																																																						
洋芝類(採取後2年以内)	発芽率80%以上																																																								
配合 半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合	<table><tr><th>ふるいの呼び名</th><th>ふるいの通過質量百分率(%)</th></tr><tr><td>19.0 mm</td><td>100</td></tr><tr><td>13.2 mm</td><td>95～100</td></tr><tr><td>4.75 mm</td><td>10～35</td></tr><tr><td>2.36 mm</td><td>5～22</td></tr><tr><td>600 μm</td><td>4～12</td></tr><tr><td>300 μm</td><td>3～12</td></tr><tr><td>75 μm</td><td>1～6</td></tr><tr><td>アスファルト量(%)</td><td>3～4.5</td></tr></table>	ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)	19.0 mm	100	13.2 mm	95～100	4.75 mm	10～35	2.36 mm	5～22	600 μm	4～12	300 μm	3～12	75 μm	1～6	アスファルト量(%)	3～4.5	歩行者用通路に使用する普通ブロックは 図(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは 図(透水性コンクリート)とする。	9 新植、移植樹木、芝等の枯補償	(23.3.4、6)(23.4.7) 新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯補償の期間 引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 引渡しの日から1年 ・無し																																			
ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率(%)																																																								
19.0 mm	100																																																								
13.2 mm	95～100																																																								
4.75 mm	10～35																																																								
2.36 mm	5～22																																																								
600 μm	4～12																																																								
300 μm	3～12																																																								
75 μm	1～6																																																								
アスファルト量(%)	3～4.5																																																								
半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値	<table><tr><th>項目</th><th>基準値</th></tr><tr><td>密度 (g/cm³)</td><td>1.9以上</td></tr><tr><td>安定度 (kN)</td><td>2.94以上</td></tr><tr><td>フロー値 (1/100cm)</td><td>20～40</td></tr><tr><td>空隙率 (%)</td><td>20～28</td></tr><tr><td>突固め回数(回)</td><td>50</td></tr></table>	項目	基準値	密度 (g/cm ³)	1.9以上	安定度 (kN)	2.94以上	フロー値 (1/100cm)	20～40	空隙率 (%)	20～28	突固め回数(回)	50	仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする。	10 屋上緑化 図	(23.5.2～4) 植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ: ・板状成型品 植込み用土 改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示 ・屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示																																									
項目	基準値																																																								
密度 (g/cm ³)	1.9以上																																																								
安定度 (kN)	2.94以上																																																								
フロー値 (1/100cm)	20～40																																																								
空隙率 (%)	20～28																																																								
突固め回数(回)	50																																																								
施工 アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。 浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による。 (1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。 (2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50 程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラ等により行う。 (3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、砕砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。 (4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。 <table><tr><th>セメントミルクの種類</th><th>養生期間</th></tr><tr><td>普通タイプ</td><td>約3日</td></tr><tr><td>早強タイプ</td><td>約1日</td></tr><tr><td>超速硬タイプ</td><td>約3時間</td></tr></table> (5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。	セメントミルクの種類	養生期間	普通タイプ	約3日	早強タイプ	約1日	超速硬タイプ	約3時間	・舗石舗装(歩行者用通路)の構成及び厚さ 図示	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 支柱 ・設置する(形式 ・図示) かん水装置 ・設置する(種類 ・)																																															
セメントミルクの種類	養生期間																																																								
普通タイプ	約3日																																																								
早強タイプ	約1日																																																								
超速硬タイプ	約3時間																																																								
試験 締固め度 標準仕様書22.4.2(2)による	<table><tr><th>種類</th><th>形状・寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>施工方法</th><th>基層</th><th>基層の厚さ(mm)</th></tr><tr><td>花こう岩</td><td>・割石・図示</td><td>・</td><td>・うろこ張り</td><td>・コンクリート版</td><td>70</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・75mm針混合物</td><td>50</td></tr></table> 目地材 モルタル クッション材 砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm 以内とする。	種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)	花こう岩	・割石・図示	・	・うろこ張り	・コンクリート版	70					・75mm針混合物	50	・舗石舗装(歩行者用通路)の構成及び厚さ 図示																																					
種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)																																																				
花こう岩	・割石・図示	・	・うろこ張り	・コンクリート版	70																																																				
				・75mm針混合物	50																																																				
舗装厚さの許容差 標準仕様書 22.4.2(3) による 舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度	<table><tr><th>種類</th><th>部位</th><th>形状寸法</th><th>厚さ(mm)</th><th>曲げ強度(N/mm²)</th><th>横断面勾配</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr><tr><td>普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>車路、駐車場</td><td>・図示</td><td>80</td><td>5.0以上</td><td>2%</td><td>砂</td><td>色彩、表面加工 ・標準品</td></tr><tr><td>普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>歩行者用通路</td><td>・図示</td><td>60</td><td>3.0以上</td><td>1.5～2%</td><td></td><td></td></tr></table> 歩行者用通路に使用する普通ブロックは 図(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは 図(透水性コンクリート)とする。	種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考	普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路、駐車場	・図示	80	5.0以上	2%	砂	色彩、表面加工 ・標準品	普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示	60	3.0以上	1.5～2%			路面標示用塗料は JIS K 5665 による。																															
種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考																																																		
普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路、駐車場	・図示	80	5.0以上	2%	砂	色彩、表面加工 ・標準品																																																		
普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示	60	3.0以上	1.5～2%																																																				
弾性舗装(歩行者用通路)の構成及び厚さ (22.4.2～6)(表22.4.2～6) 図示	<table><tr><th>区分</th><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>表層</td><td>弾性舗装材</td><td>15～20</td></tr><tr><td>基層</td><td>再生密粒度アスファルト混合物(13)</td><td>30</td></tr></table> 加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による	区分	種類	厚さ(mm)	表層	弾性舗装材	15～20	基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30	仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする。	路面標示用塗料は JIS K 5665 による。																																													
区分	種類	厚さ(mm)																																																							
表層	弾性舗装材	15～20																																																							
基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30																																																							
	<table><tr><th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅(mm)</th><th>塗布厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・1種 図</td><td>常温</td><td>液状</td><td>・白</td><td>・150</td><td>・1.0</td></tr><tr><td>・2種 図</td><td>加熱</td><td rowspan="2">粉体状</td><td rowspan="2">・</td><td rowspan="2">・100</td><td rowspan="2">・</td></tr><tr><td>・3種1号</td><td>熔融</td></tr></table> 図 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	・1種 図	常温	液状	・白	・150	・1.0	・2種 図	加熱	粉体状	・	・100	・	・3種1号	熔融																																				
種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)																																																				
・1種 図	常温	液状	・白	・150	・1.0																																																				
・2種 図	加熱	粉体状	・	・100	・																																																				
・3種1号	熔融																																																								
	23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・行う ・行わない (23.1.3) 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ・行わない																																																						
		2 植栽基盤の整備	(23.2.2～4) <table><tr><th>植栽</th><th>工法</th><th>有効土層の厚さ(cm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>・樹木</td><td>A種 ・B種 ・C種 ・D種</td><td>樹高12m以上 (100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (60 ・80) 樹高3m未満 (50 ・60)</td><td>・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td>芝、地被類</td><td>B種</td><td>20</td><td>・植栽部分 ・図示</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr></table> 植栽基盤の排水設備 ・設ける(図示 ・) ・設けない 植込み用土 ・適用する(・現場発生土の良質土 ・客土 ・) ・適用しない 土壌改良材 ・適用する ・適用しない ・バーク堆肥 図 施工箇所 植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・50L ・) 汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) 図 施工箇所 植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。	植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (60 ・80) 樹高3m未満 (50 ・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない	芝、地被類	B種	20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない																																							
植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材																																																					
・樹木	A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (60 ・80) 樹高3m未満 (50 ・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない																																																					
芝、地被類	B種	20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない																																																					
		3 樹木	樹種、寸法、株立数等 図示 ・ (23.3.2)																																																						

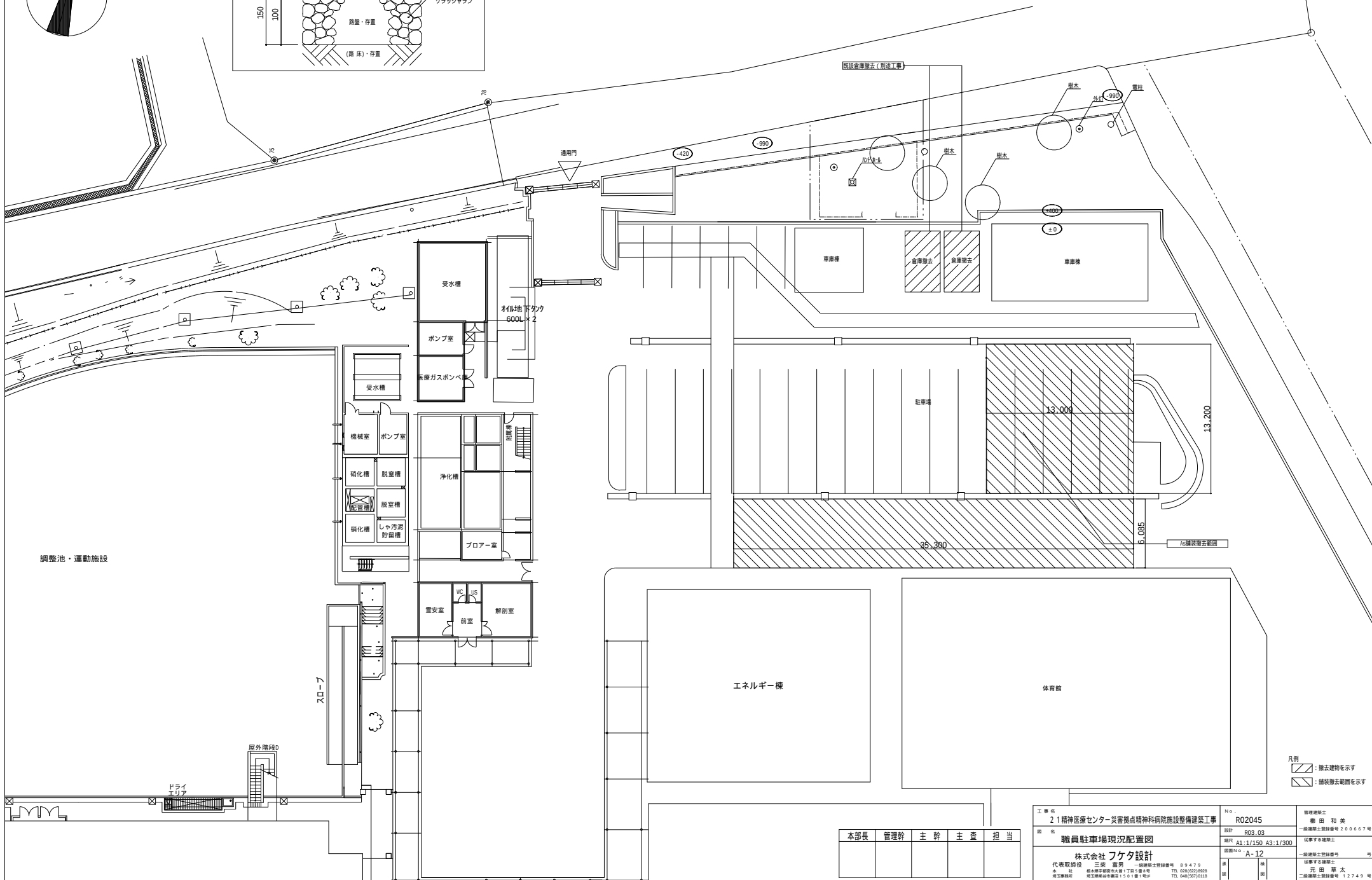
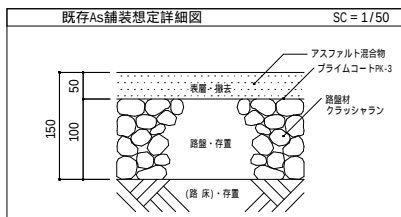
8 弾性舗装

工事名 21 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理建築士 柳田 和美	
図名 特記仕様書6		設計 R03.03		一般建築士登録番号 200667号	
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三奥 嘉男 一般建築士登録番号 89479 本社 栃木県宇都宮市大橋1丁目5番8号 TEL 028(622)8828 埼玉事務所 埼玉県熊谷市東店1501番1号1F TEL 048(567)0118		編尺 —		従事する建築士	
		図面No. A-07		一般建築士登録番号	
承認		承認	精図	従事する建築士 元田 草太 二級建築士登録番号 12749号	

[illegible]

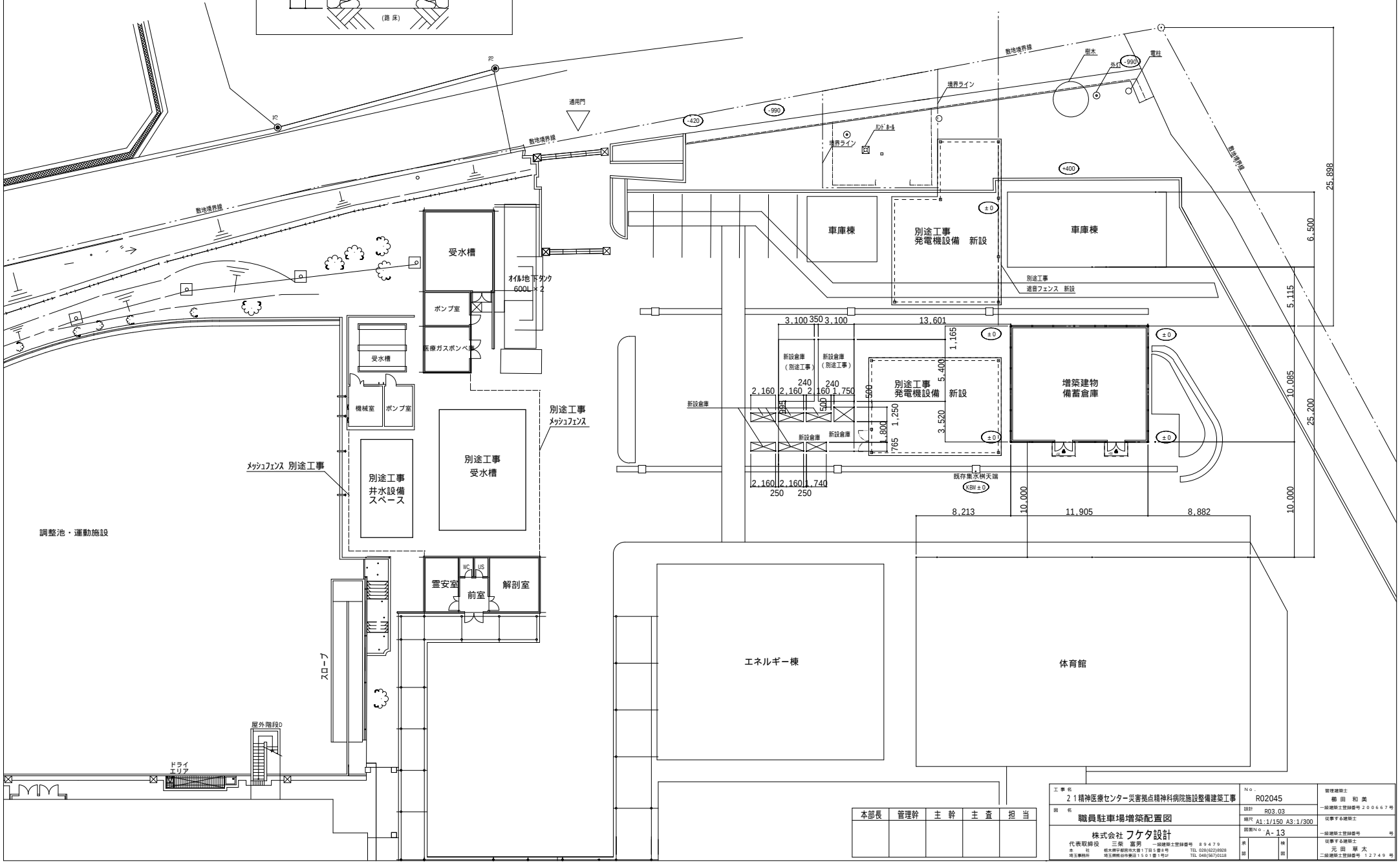
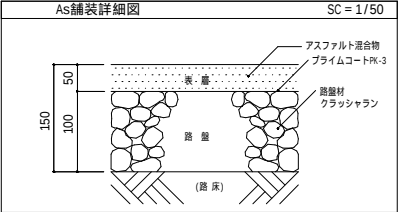
工事名	No.	管理建築士
21 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	R02045	棚田 和美
図名	設計 R03_03	一般建築士登録番号 200667号
特記仕様書7	縮尺 1/	従事する建築士
株式会社 フケタ設計	図面No. A-08	一般建築士登録番号
代表取締役 三柴 富男 一般建築士登録番号 89479	承認	承認する建築士
板橋区板橋町大井町5丁目5番4号 TEL 020(622)8928	図	元田 章大
埼玉県板橋市南境1501番1号 TEL 048(567)0118	監	二級建築士登録番号 12749号

					工 事 名	R02045		管理棟 棟田 和 美	
					21 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備備置工事			一般建築士登録番号 200667号	
					商 名	設計 R03_03	依頼する建築士		
					特記仕様書8	図紙	依頼する建築士		
					株式会社 フケタ設計	図面No	A-09	一般建築士登録番号	
					代表取締役 三 塚 喜男	一般建築士登録番号	89479	特	
					代 表 取締役 三 塚 喜男	TEL 03(52)38200			
					東京千代田市中央区千代田1-1-1 地下1F 地下1F	FAX 03(52)38201			
					所 在 地	所 在 地	所 在 地		
					元 田 肇 大	二級建築士登録番号 12749号 特			



本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工事名	2 精神医療センター災害復興精神病院施設整備建築工事	No.	R20045	管理事務担当者	梶田 和 美
概 要	職員駐車場現況配置図	設計	R03.03	一般事務担当者	200667 号
		概算	A1/1/150 A3/1/300	設計事務担当者	
	株式会社 フケタ設計	関係図	A-12	一般事務担当者	号
代表取締役	三 柴 嘉男 一般設計士登録番号 9 9479	採 用 部		一般事務担当者	
	代表取締役 佐藤 幸子 一般設計士登録番号 12502			支 店 課 長	
	代表取締役 佐藤 真由子 一般設計士登録番号 12501			二級建築士登録番号	12749 号



外 部 仕 上 表

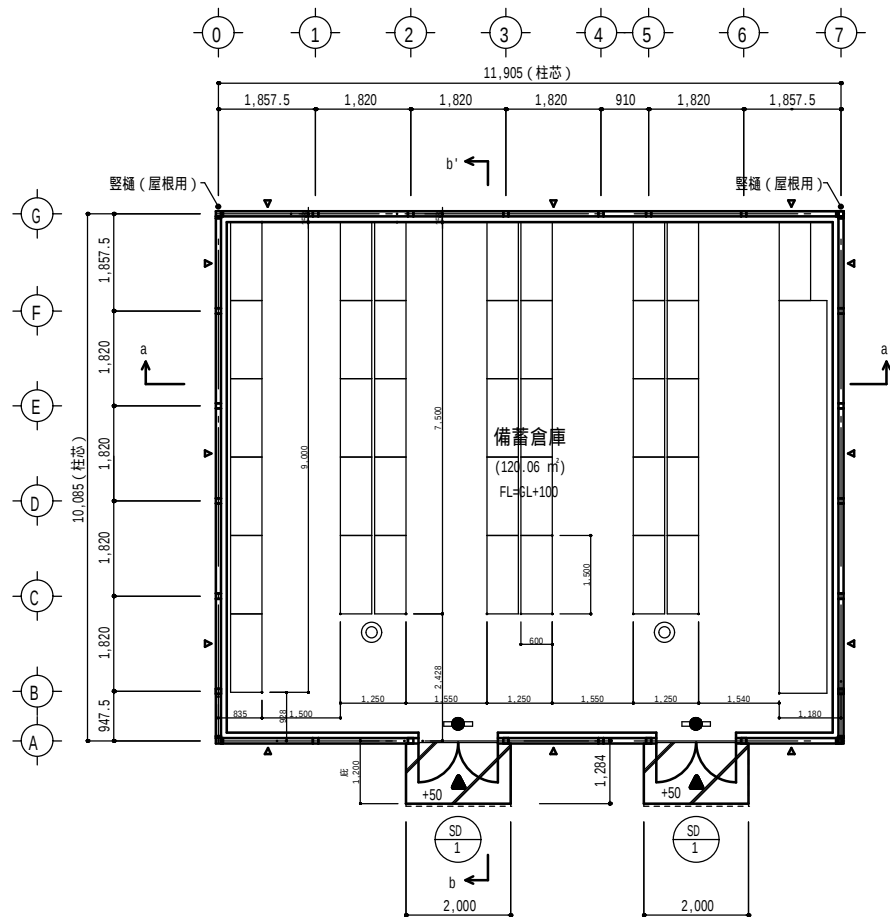
笠 木	カラー鉄板 t=0.5 折曲げ加工
屋 根	カラーガルバリウム鋼板（ハゼ式） t=0.8 H=90
軒裏・鼻隠し	軒裏：ルーフデッキあらわし（断熱材無し） 鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5、H=300
外 壁	窯業系サイディング t=18 下地：鋼製 透湿防水シート
建 具	鋼製両開きドア
外 腰	コンクリート打放仕上（補修程度）
樋	軒樋：塩ビ製（角型 前高120） 竪樋：塩ビ製（VU-75φ）
庇	アルミ既製品 D=1200×W=2000
犬 走 り	コンクリート金コテ押さえ
水 切	カラー鉄板 t=0.35

内 部 仕 上 表

床	コンクリート金コテ仕上 t=120
巾 木	ソフト巾木 H=60
内 壁	石膏ボード t=12.5 上 EP-G仕上 LGS下地 グラスウール t=50（24kg品）
廻 り 縁	塩ビ製
天 井	石膏ボード t=9.5 上 EP-G仕上 LGS下地 グラスウール t=100（24kg品）

凡 例

⊙	ABC粉末消火器
●	高輝度蓄光式誘導標識 S50級 150角



1 階 平面図 S=1/100

建具表 S=1/50

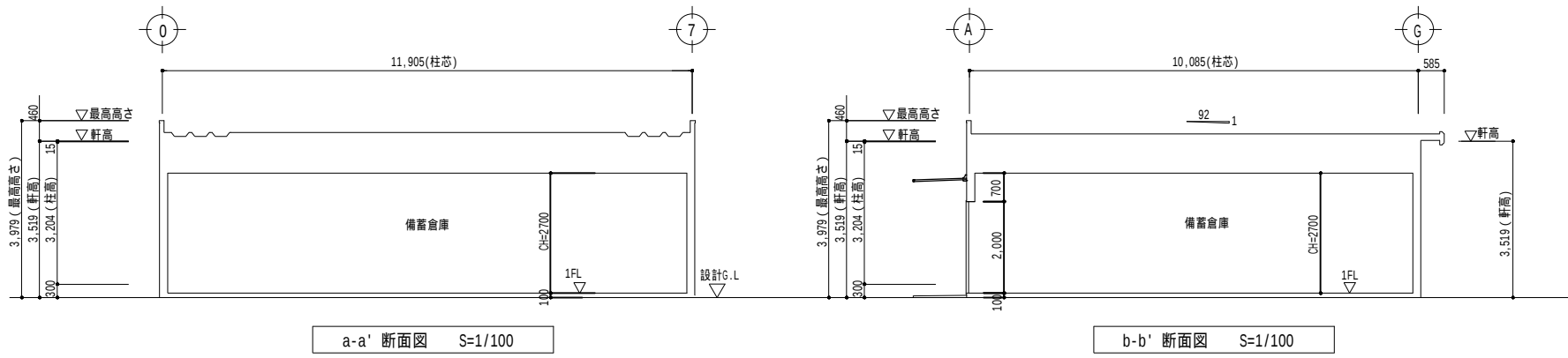
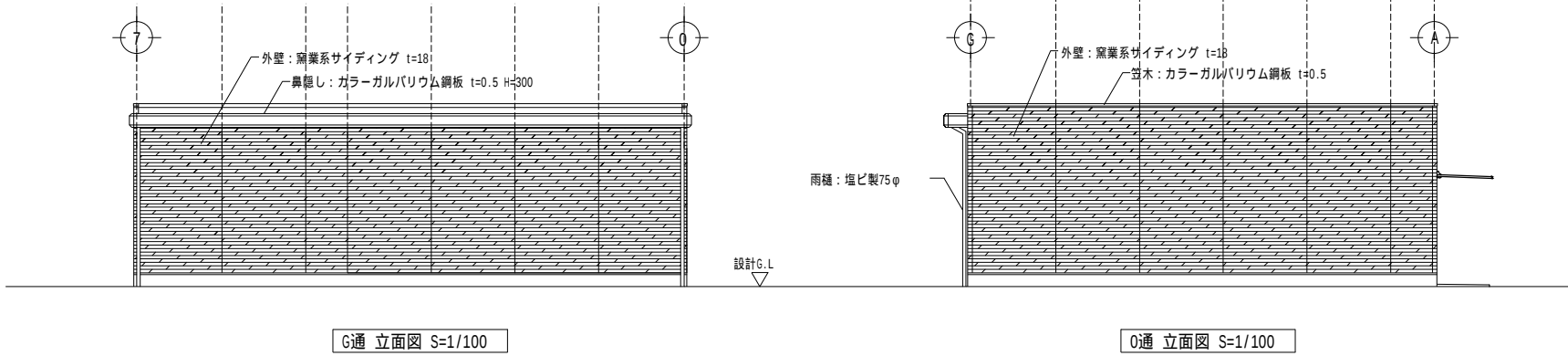
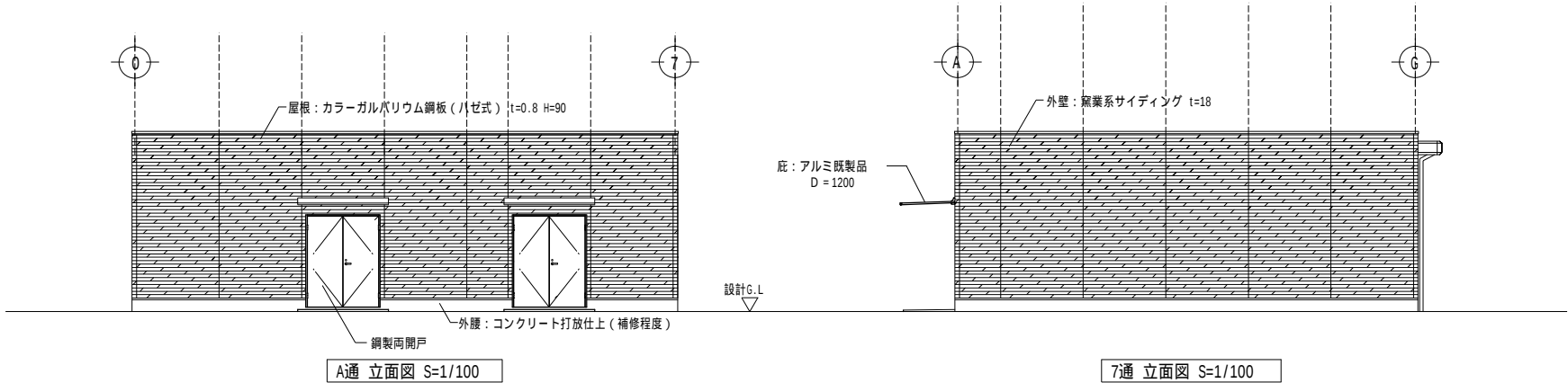
符号・数量	⊙ SD 1	2ヶ所
《外視図》		
型式・見込	鋼製両開き戸 t=1.6	
仕上	アクリル樹脂焼付（3分艶）	
硝子		
付属金物	レバーハンドル、シリンダー錠	
その他	SUS製見切りH.L. フラスコ落とし、ドアカギ	

備蓄棚詳細図 S=1/50

正面図	側面図	3ヶ所
平面図		
素材	スチール（支柱 t1.6mm）	
仕上	メラミン焼付け塗装	
その他	耐荷重 200kg/段（均等静止荷重） 転倒防止ベース（アンカー打ち） 天つなぎ転倒防止	

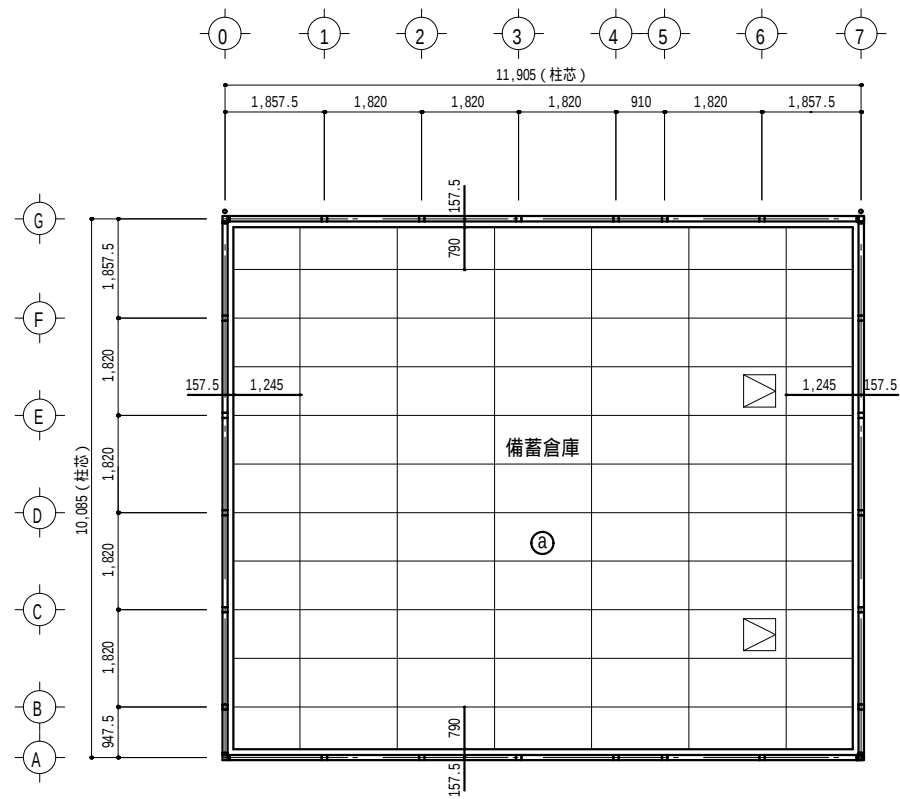
本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工 事 名	21 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	N O .	R02045	管理棟主任	柳 田 和 典
図 名	備蓄倉庫 仕上表・平面図・建具表	図 号	R03_03	一般建築士登録番号	200667号
代表取締役	三 瀬 富 男	副 代表取締役	三 瀬 富 男	設計	元 田 直 太
代表取締役	三 瀬 富 男	副 代表取締役	三 瀬 富 男	監 理	元 田 直 太
代表取締役	三 瀬 富 男	副 代表取締役	三 瀬 富 男	監 理	元 田 直 太



本部長	管理幹	主幹	主査	担当

工事名	21 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	図番	R02045	監理者	藤田 和 美
図名	備蓄倉庫 立面図・断面図	図尺	A1:1/50 A3:1/100	監理者	藤田 和 美
設計者	株式会社 フクタ設計	図面No.	A-15	監理者	藤田 和 美
代表取締役	三 塚 隆 男	一級建築士登録番号	8 9 4 7 9	監理者	藤田 和 美
代表取締役	三 塚 隆 男	一級建築士登録番号	8 9 4 7 9	監理者	藤田 和 美
代表取締役	三 塚 隆 男	一級建築士登録番号	8 9 4 7 9	監理者	藤田 和 美



① 石膏ボード t=9.5 EP-G仕上

天井伏図 S=1/100

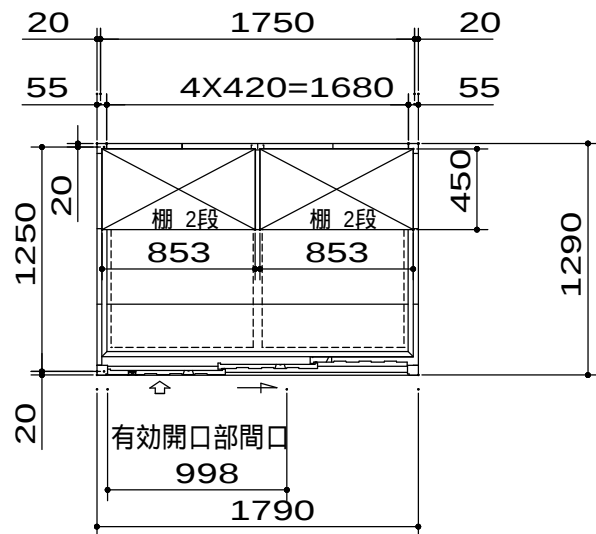
凡 例

□ : 天井点検口 □ 600

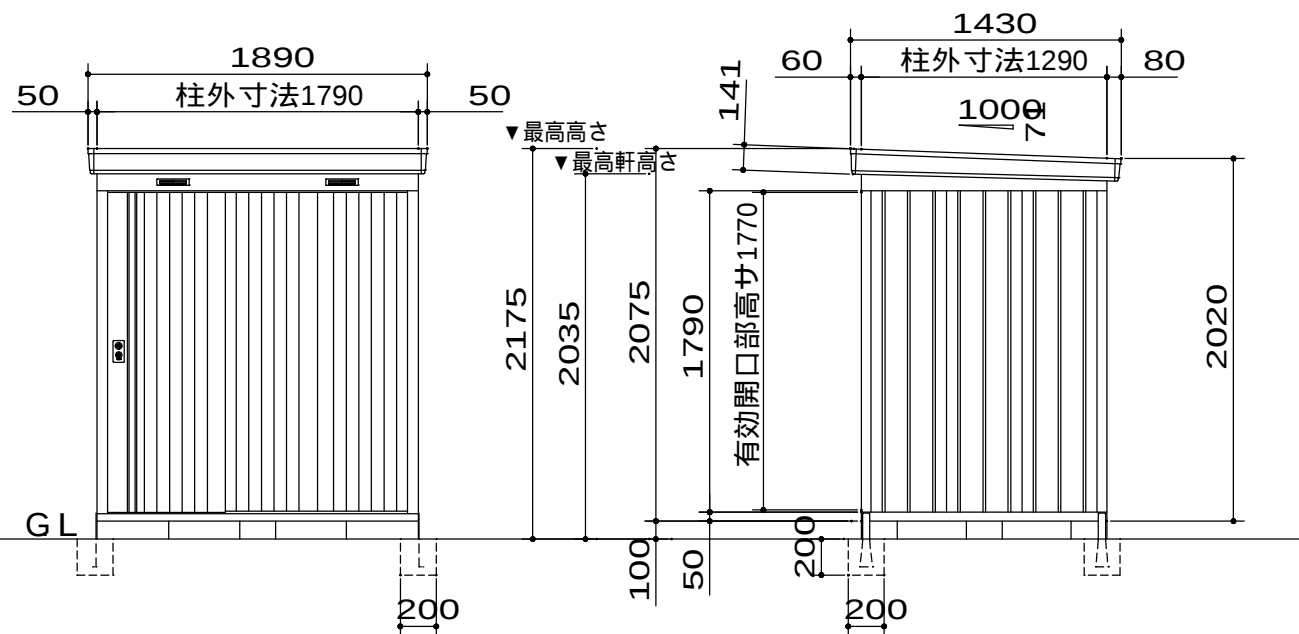
本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工 事 名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		監理建築士 藤 田 和 美	
図 名 備蓄倉庫 天井伏図		図 尺 A1:1/50 A3:1/100		一級建築士登録番号 20066746	
代表取締役 三 浦 浩 男 〒600-8501 大阪府大阪市中央区南船場1-1-1 三浦浩男事務所 TEL 06(622)8928 FAX 06(622)8929		図 面 No. A - 16		一級建築士登録番号 元 田 華 太 二級建築士登録番号 127494	

移設倉庫

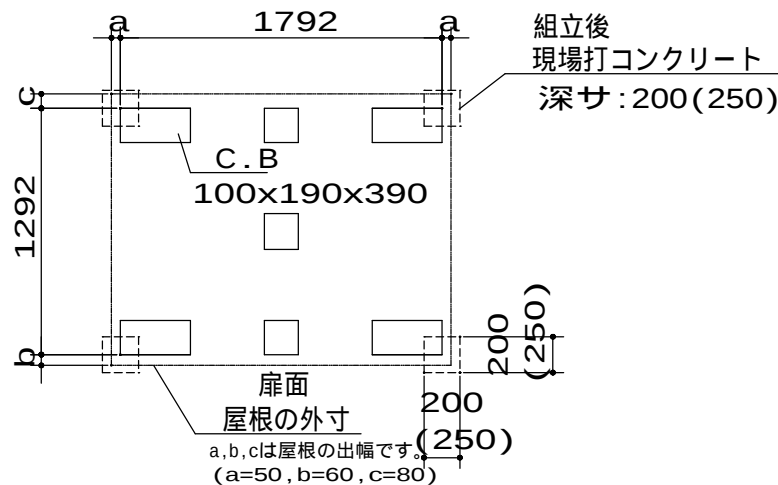


平面図



正面図

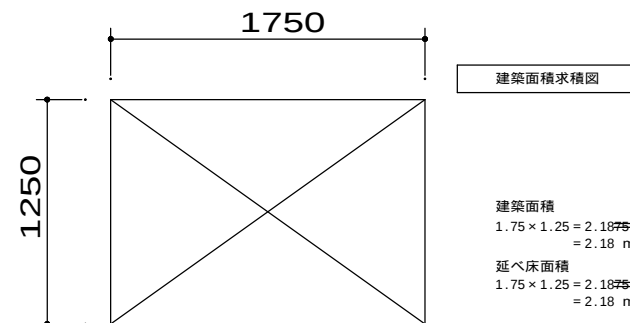
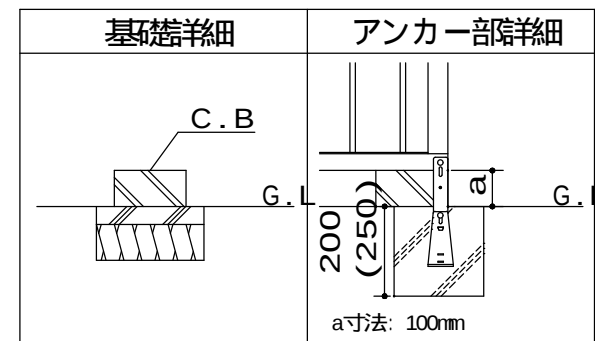
側面図



品番	部 品 名	材料 (材質)	単位mm
1	土台枠	F12	1.2
2	根太	F12	1.2
3	柱	F12	1.0
4	床パネル	F12	1.0
5	鴨居	Y10	1.0
6	桁後	Y10	1.0
7	妻板左右	Y10	0.7
8	鼻隠シ前後	Y10	0.7
9	屋根パネル	Y10	0.5
10	母屋中	F12	1.0
11	壁パネル	F12	0.6
12	正面パネル	F12	0.7
13	扉	F12	0.8
14	棚板	F12	0.6
15	アンカープレート	F12	2.3

F12→溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)

Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)



建築面積求積図

建築面積

1.75 × 1.25 = 2.1875
= 2.18 m²

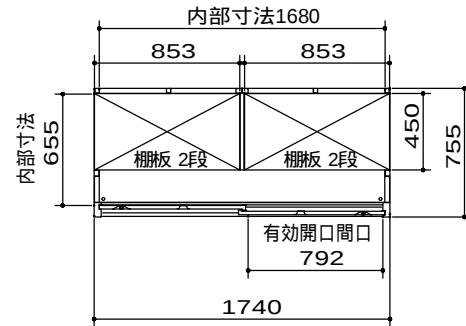
延べ床面積

1.75 × 1.25 = 2.1875
= 2.18 m²

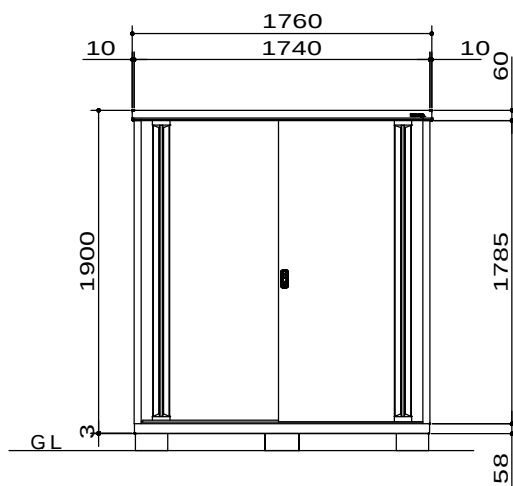
本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工 事 名	21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	図 号	R02045	管理棟主幹	藤 田 和 美
図 名	倉庫詳細図 (2)	設計	R03_02	一般建築士登録番号	200667号
代表取締役	三 栄 富 男	図 名	A1-19	工事する建築士	
本 社	株式会社三栄富男	図 名	A1-19	工事する建築士	
代表取締役	三 栄 富 男	図 名	A1-19	工事する建築士	
代表取締役	三 栄 富 男	図 名	A1-19	工事する建築士	

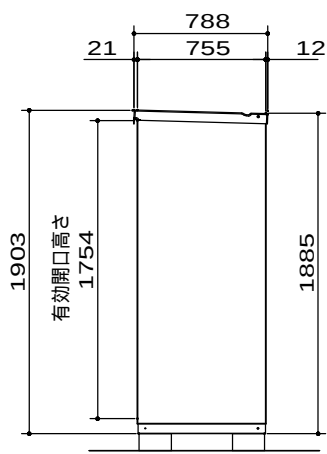
移設倉庫



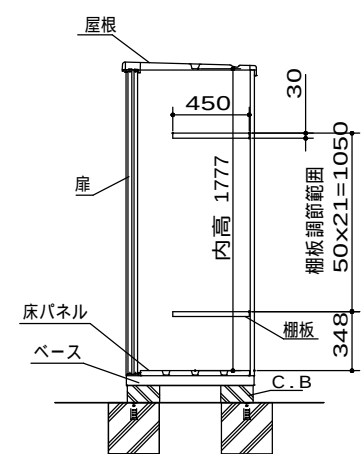
平面図



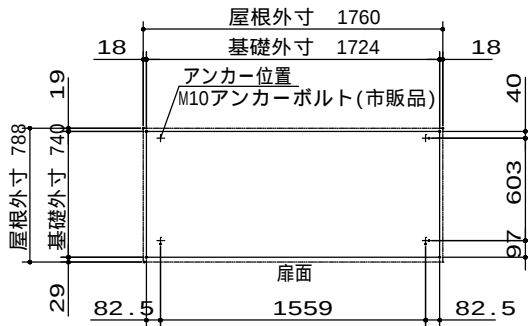
正面図



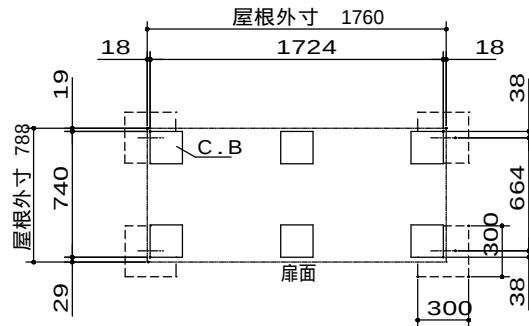
側面図



断面図

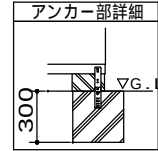


ベタ基礎図



ブロック置基礎図

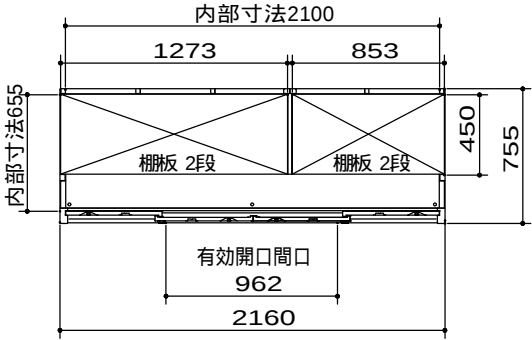
品番	部品名	材料(材質)	単位mm
1	ベース	F12	1.2+1.0
2	ベース下枠	F12	1.2+1.0
3	側板	F12	0.6
4	壁パネル	F12	0.5
5	屋根	F12	0.6
6	扉	F12	0.6
7	床パネル	F12	0.6
8	棚板(4枚)	F12	0.6
F12→溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)			
ベース調整範囲: 32mm			



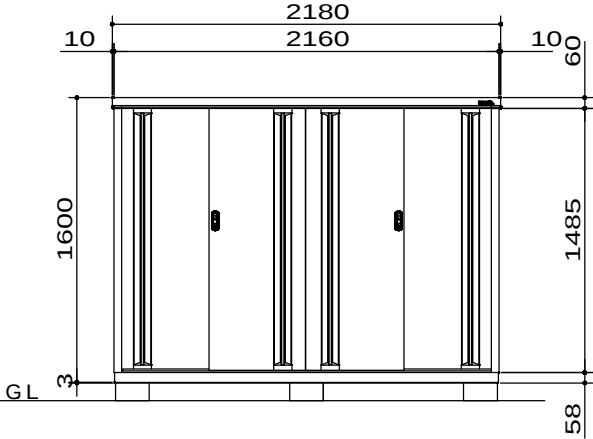
本部長	管理幹	主幹	主査	担当

工事名	21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	図番	R02045	設計	R03_03
倉庫詳細図(3)		図尺	A1:1/15 A3:1/30	図名	A-18
株式会社 フケタ設計		代表取締役	三浦 隆男	代表取締役	元田 肇大
本社	熊本県宇都宮市大字1丁目5番8号	TEL	098(622)8928	本社	熊本県宇都宮市大字1丁目5番8号
熊本事務所	熊本県宇都宮市大字1丁目5番8号	TEL	098(622)8928	熊本事務所	熊本県宇都宮市大字1丁目5番8号

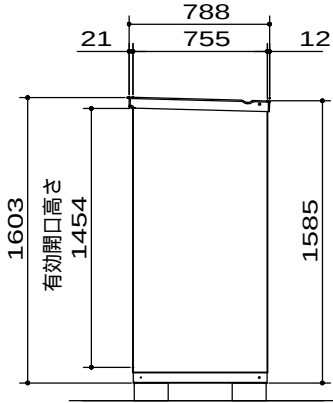
移設倉庫



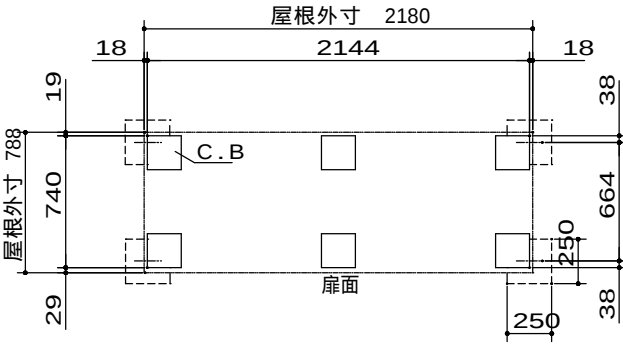
平面图



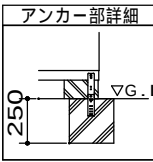
正面図



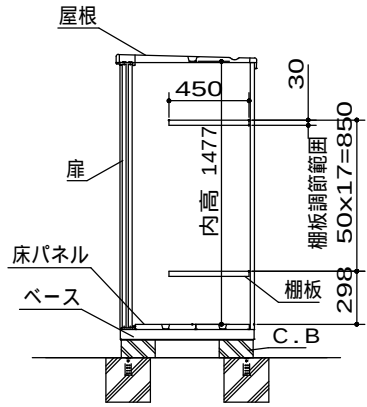
側面図



ブロック置基礎区



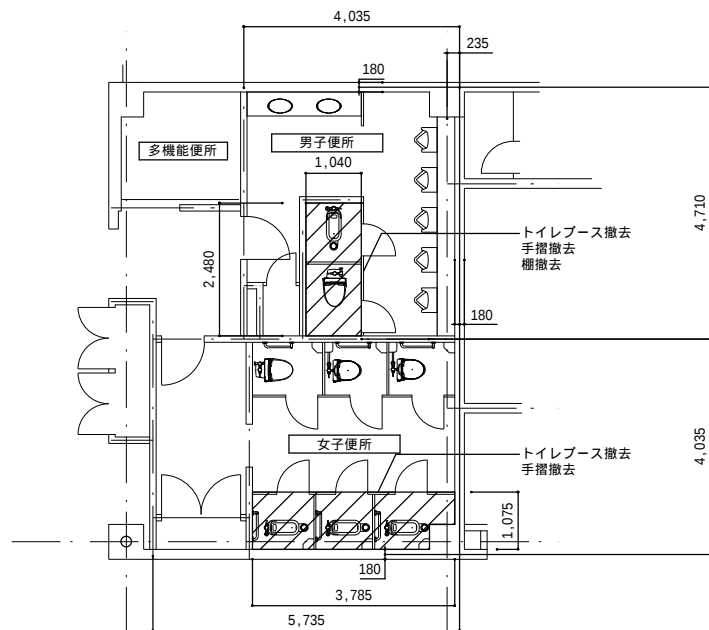
品番	部品名	材料(材質)	単位mm	
1	ベース	F12	1.2	1.0
2	ベース下枠	F12	1.2	1.0
3	側板	F12	0.6	
4	壁パネル	F12	0.5	
5	屋根	F12	0.6	
6	扉	F12	0.6	
7	床パネル	F12	0.6	
8	棚板(4枚)	F12	0.6	
F12→溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)				
ベース調整範囲: 32mm				



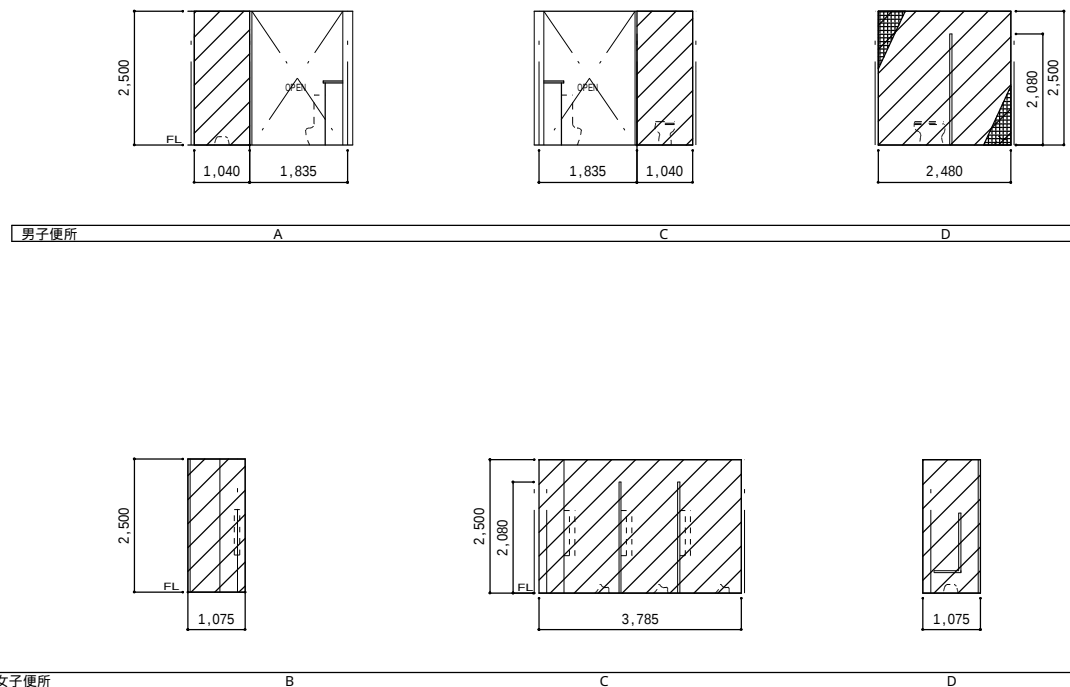
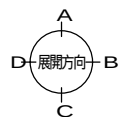
断面図

本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工事概要		No.		管理職名	
2 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		R02045		宮田 和典	
名称		設計 R03_03		一級建築士登録番号 2 0 0 6 6 7 号	
倉庫詳細図 (4)		図尺 A1/125 A3/170		必要事項登録番号	
株式会社 フケ設計		図面No. A - 20		必要事項登録番号	
代表取締役 三宅 嘉男 一級建築士登録番号 8 9 4 7 号		姓	名	必要事項登録番号	
本 社 東京都千代田区大塚 1-15-15 番 8 号 TEL 03(6507)2100		氏 名		元 田 博 之	
支 店 東京都目黒区大塚 1-15-15 番 8 号 TEL 03(6507)2100		氏 名		元 田 博 之	



本館トイレ平面図（改修前）



特記事項：和便器撤去後開口塞ぎとする。

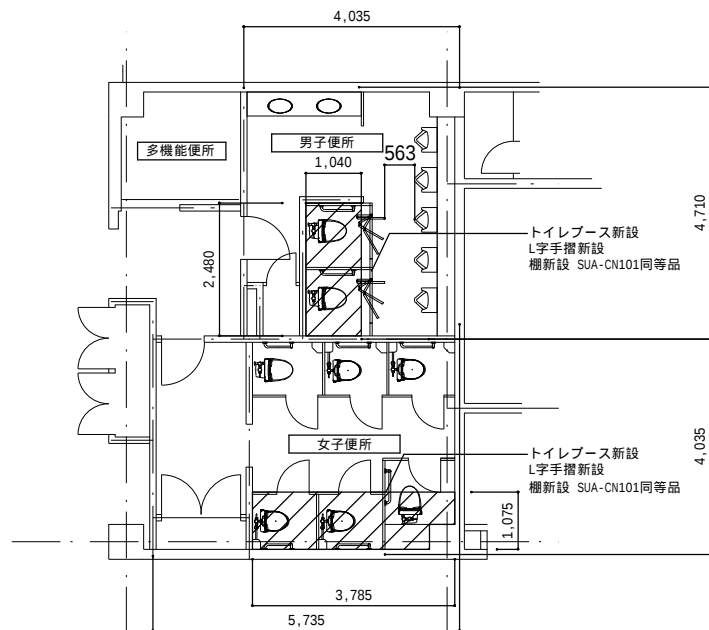
和便器撤去穴（700×300）については、
D13-8200 ダブル
厚150でカサリ埋めとする。

改修範囲を示す

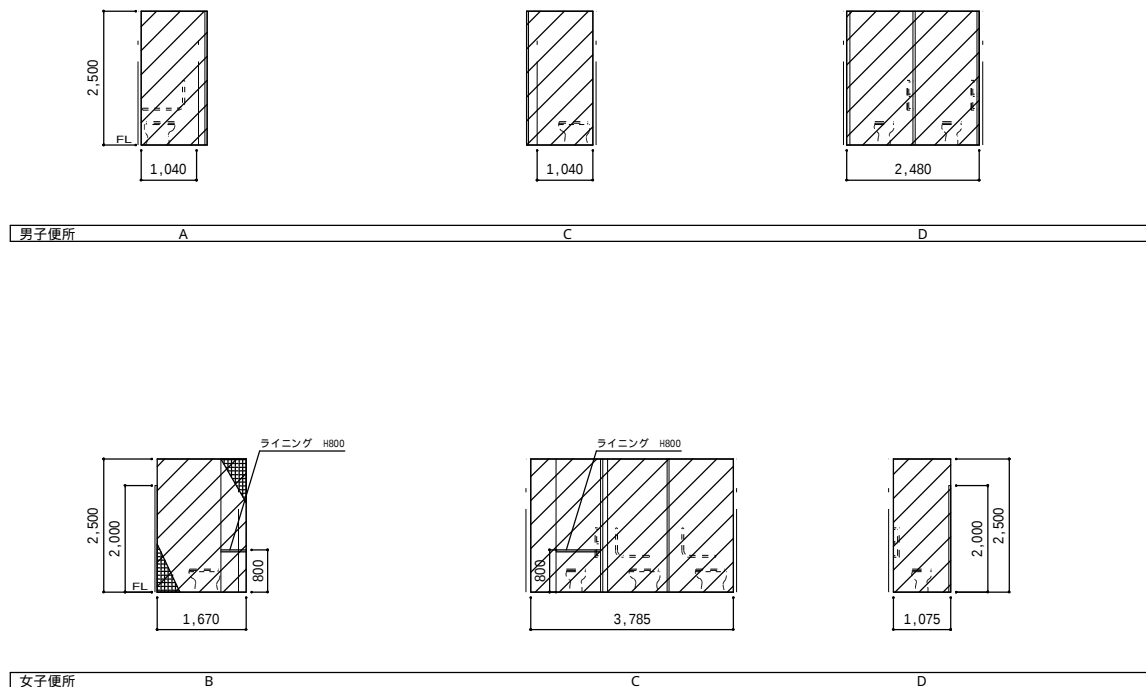
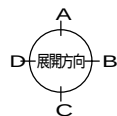
男子・女子便所	仕上表（改修前）	改修内容
床	100角磁器質タイル貼	撤去
	125 珧タイル下地	撤去
壁	100角磁器質タイル貼	撤去
	15 珧タイル下地	撤去

本部長	管理幹	主幹	主査	担当

工事名	21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	図面番号	R02045	監理建築士	鶴田 和美
設計	R03.03	一般建築士登録番号	200667号		
図面名	本館トイレ平面図・展開図（改修前）	縮尺	A3:1/50 A3:1/100	従事する建築士	
株式会社 フケタ設計		図面No.	A-21	一般建築士登録番号	
代表取締役	三関 嘉男 一般建築士登録番号 89479	承認		従事する建築士	元田 草次
本社	岐阜県岐阜市大井町1丁目1番1号 TEL 058(522)3928	監理		二級建築士登録番号	12749号
岐阜事務所	岐阜県岐阜市東山1丁目1番1号 TEL 058(527)0118				



本館トイレ平面図（改修後）



特記事項：和便器撤去後開口塞ぎとする。

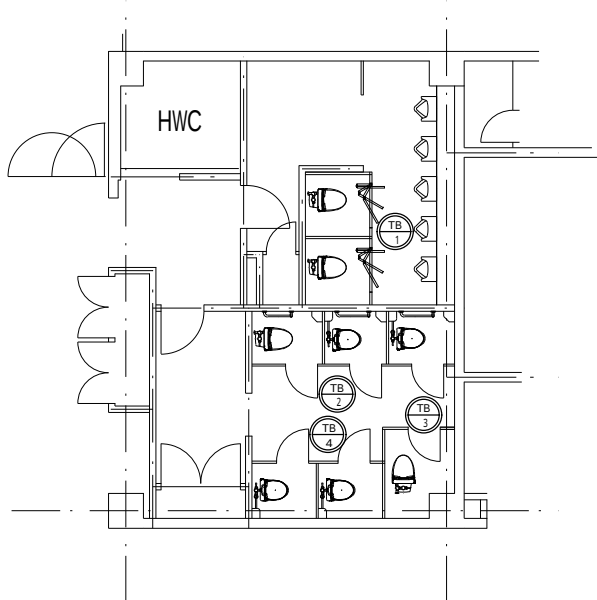
和便器撤去穴（700×300）については、
D13-8200 ダブル
厚150でカサハ埋めとする。

改修範囲を示す

男子・女子便所 仕上表（改修後）		改修内容
床	100角磁器質タイル貼	新設
	125 タイル下地	新設
壁	100角磁器質タイル貼	新設
	15 タイル下地	新設

本部長	管理幹	主幹	主査	担当

工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		図面番号 R02045	監理建築士 船田 和典
設計 R03.03		概算 A3.1/150 A3.1/100	一般建築士登録番号 200667号
本館トイレ平面図・展開図（改修後）		図面尺寸 A-22	監事する建築士 元田 草次
株式会社 フケタ設計		水 〇 換 〇	一般建築士登録番号
代表取締役 三関 嘉男 一般建築士登録番号 89475			元田 草次
本社 名古屋市東区大須1丁目1番4号 TEL 03(642)39028			二級建築士登録番号 12749号
埼玉事務所 埼玉県東武野田駅1501番1号TEL 048(527)0118			



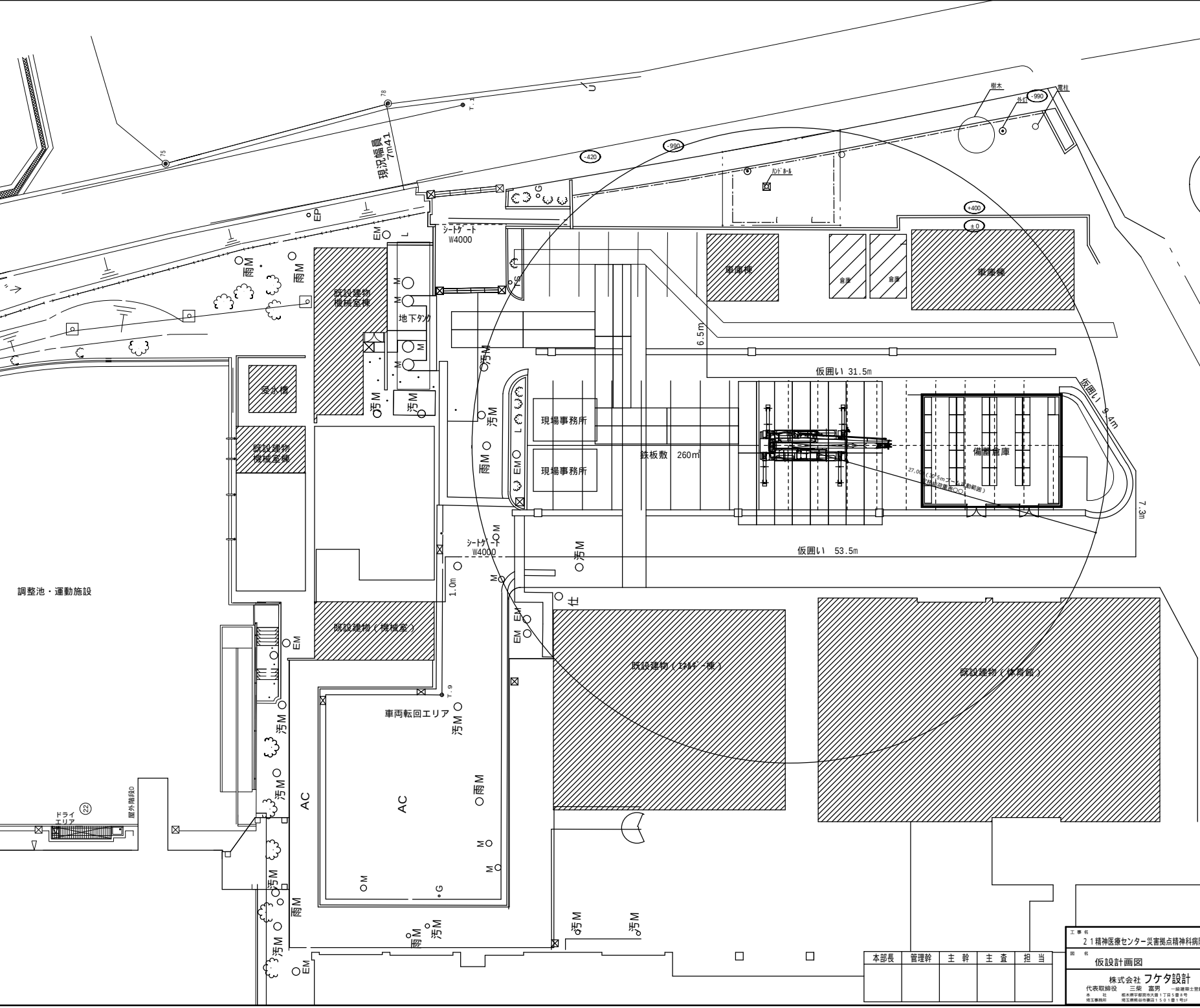
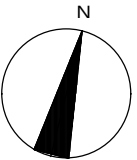
本館トイレ平面図（改修後）

符号見込箇所	TB 1 401箇所	TB 2 401箇所
形状	FL 2398318698312102,480 1,2002,0002,500	FL 6256006006006006006002533,785 9902,0002,500
材質	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
仕上		
硝子		
金物	錠表示付ラッチ錠上部打掛錠 支持金物ラバトリーヒンジ その他金物	錠表示付ラッチ錠上部打掛錠 ラバトリーヒンジ
室名	男子便所	女子便所
備考	折れ戸タイプ巾木タイプ	巾木タイプ

符号見込箇所	TB 3 401箇所	TB 4 401箇所
形状	FL 2656004801,345 1,7102,0002,500	FL 990 2,0002,500
材質	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
仕上		
硝子		
金物	錠表示付ラッチ錠上部打掛錠 支持金物ラバトリーヒンジ その他金物	錠表示付ラッチ錠上部打掛錠 ラバトリーヒンジ
室名	女子便所	女子便所
備考	巾木タイプ	巾木タイプ

本部長	管理幹	主幹	主査	担当

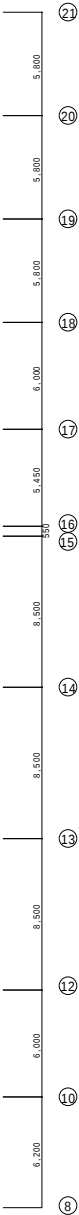
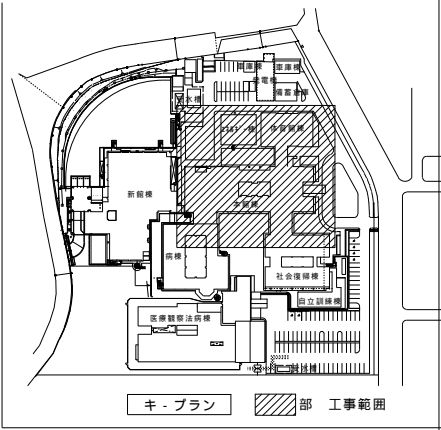
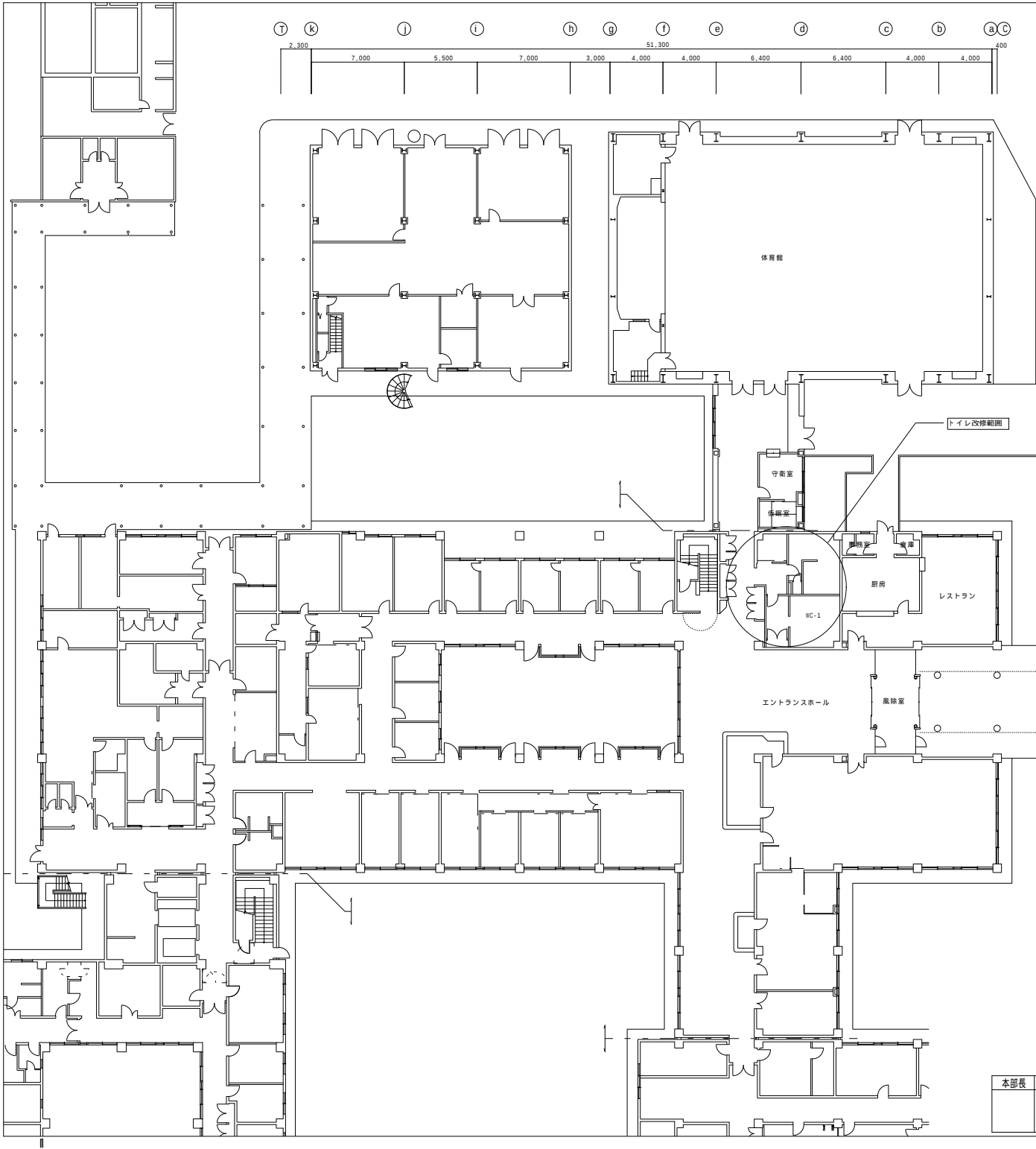
工事名	21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	図面	R02045	監理監工	鶴田和典
設計	本館トイレ建具表（改修後）	図面	R03.03	一般監理士登録番号	200667号
監理	株式会社 フケタ設計	図面	A3.1/50 A3.1/100	従事する建築士	
代表取締役	三関 嘉男	監理	A-23	一般監理士登録番号	
本社	名古屋市中区大須1丁目1番1号	監理		従事する建築士	元田 草次
埼玉事務所	埼玉県春日部市豊田150-1番1号101号	監理		二級建築士登録番号	12749号



- 凡 例
- : 既 設 建 物
 - ▨ : 解体建物
 - : 計 画 建 物

本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工 事 名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045	管理棟監工 柳 田 和 美
図 紙 飯設計画図		図号 R03_03	一級建築士登録番号 200667号
株式会社 フケタ設計		図尺 A1:1/150 A3:1/300	工事予備監工
代表取締役 三 塚 隆 男 一級建築士登録番号 89479 〒 5 市 飯 町 東 1 丁目 5 番 8 号 TEL 048(567)0928 竣工事務所 埼玉事務所 1501番1号2F TEL 048(567)0518		図面No. A-24	一級建築士登録番号 保 守 予 備 監 工 元 田 肇 次 二級建築士登録番号 12749号



1階 平面図 S=1:150

本部長	管理幹	主幹	主査	担当

工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02086		管理建築士 藤田 和美	
図名 既存1階 トイレ位置図		設計 R03.03		一般建築士登録番号 200667号	
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三原 富男 一般建築士登録番号 89479 本社 東京都中央区本町1丁目5番4号 TEL 03(562)4028 埼玉事務所 埼玉県熊谷市春日1-5-0 1号12 TEL 048(567)0118		縮尺 A1:1/150 A3:1/300		図章する建築士	
		図面No. A - 26		図章する建築士	
		系	種	図章する建築士 元田 卓太	
		部	図	二級建築士登録番号 12749号	

構造設計特記仕様

(1) 工事名称
建築場所

精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備工事
埼玉県北足立郡伊奈町小室 8 1 8 - 2

(2) 工事種別

■新築 □増築 □増改築 □改築

(3) 構造種別

■鉄骨造（S）

(4) 階数

地上 1 階

(5) 主要用途

倉庫

(6) 屋上付属物

□有 □無

(7) 特別な荷重

□エレベータ入渠(マシナールムレス ロープ式 油圧式) □リフト kN □ホイスト kN
□倉庫機軸採用 N/m²

(8) 付帯工事

□有 □無

(9) 増築計画

□X方向ルート(1-1) □Y方向ルート(1-1)
□X方向ルート(1-2) □Y方向ルート(1-2)

(10) 構造計算ルート

□X方向ルート(1-1) □Y方向ルート(1-1)
□X方向ルート(1-2) □Y方向ルート(1-2)

(11) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

■建築基準法
■日本建築学会「JASG」「鉄骨強度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■鋼材供出部「建築鉄骨工事施工指針」
□社）日本鋼構協会「建築鉄骨工事施工指針」
□鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の良い違い仕口のすれの検査・補強マニュアル」

2 . 使用構造材料一覧表

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 $f_c < 17 / \text{mm}^2$	構造体強度の 補正値 nSn	スラブ cm	水セメント比の 目標値の上限 %	空気量 % の目標値	単位水量の目標値 kg/m ³ の上限
地コンクリート	■普通	18	0	18	(65)	(4.5)	(185)
土間コンクリート	■普通	21	0	18	65	4.5	185
基礎、基礎梁	■普通	21	*1	18	65	4.5	185
柱、梁、床、壁	□普通、 □軽量	21	*1	18	65	4.5	185
押入コンクリート	□普通、 □軽量						
給排水の種類	■砂	■山砂	□人工	■最大寸法5mm以下			
粗骨材の種類	■砂利	■砕石	□人工	■最大寸法25mm以下			
水の区分	■水道水	□地下水	□工業用水				
混和材料の種類	■A減水剤	□高性能A減水剤	□				

※コンクリートの構造体強度補正値(nSn)は、調査強度を定めるための基準とする材齢(n日)における標準養生供試体の圧縮強度と、構造体コンクリート強度を設計基準強度以上とする材齢(n日)におけるコア圧縮強度との差に関する補正値である。

セメントの種類	n日	n日	コンクリート打ち込みから材齢28日までの予想平均気温(θ)とnSn
普通ポルトランド・混合A種	28	91	θの範囲 () nSn (N/mm ²) 0 θ < 8 3 0 θ < 8 3

(注)暑中期間における構造体強度補正係数γは、GN/mm²とする。

(2) 鉄筋

種類	使用箇所	現場溶接	備考
異形鉄筋	■SD295A □SD335B □SD345 □JIS G 5131	D16以下 図示による	■重ね継手 □ガス圧接継手
丸鋼	□SR235 □SM-P SM-C □SM-R SM-I	5.0、6.0 CDS、CDS	□特殊継手 (特許)

(3) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
■SS400	形鋼・鋼板	無	JIS G 3101
■STKR400	角形鋼管	無	JIS G 3466
■SWH400L	リップH形鋼	無	JIS G 3132
■SNR400R	ブレース	ブレース	JIS G 3138
■STNR400又は400R	ブレース	ブレース	JIS G 3475
■SSC400	軽集積鋼	無	JIS S 3350
■SN400R	ブレース	ブレース	JIS S 3436
■SN490R	ベースプレート	無	JIS S 3436

(4) ボルト

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

□高力ボルト(ボルト径はボルト軸径+2.0mmとする)
(圧接接合に使用するボルト径はボルト軸径+1.0mm~+1.5mmとする)
□F8T □S10T □固定金(□M16 □M20)
高力ボルトすべり係数試験 □要 □否
高力ボルト導入張力確認試験 □要 □否

■普通ボルト<強度区分は別図による>(ボルト径はボルト軸径+1.0mmとする)
□M10 ■M12 ■M16 □M20

■アンカーボルト(ボルト径はボルト軸径+5.0mmとする)
□SS400又はSNR400R M() L() mm ダブルナット
■SNR490B M(16) L=(500) mm ダブルナット
□SNR490B M() L() mm ダブルナット
■SNR490B M() L() mm ダブルナット

(5) 屋根、床

□ALC板 厚 H=88 厚 □0.6 □0.8
□ルーフデッキ
■ルーフデッキハゼ式 H=90 厚 □0.6 ■0.8
□デッキプレート 型式 V50 厚 □1.2 □1.6仕上げ □素地 □垂絡めつき
□床パネル □H17 □H90

3 . 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

□有 (□敷地内 □近隣) □無 (調査計画 □有 □無)

調査項目	資料有り	調査項目	資料有り	調査項目	資料有り	調査項目	資料有り
ボーリング調査		静的貫入試験		標準貫入試験			
水平抗力係数の測定		土質試験		物理探査			
経緯度(方位角の確認)		平板載荷試験		浸透性測定			
3次元GPS観測		現況地味試験		PS観測			

(注)上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)

深度	N値	標準貫入試験	調査地盤
土質	層	10 20 30 40 50 60	
			○調査地盤
			○位置図
			○支持地盤、地盤及び深さについてのコメント
			○孔内水位 GL - m
			○近隣データの調査地盤と設計地盤とは約 mの距離がある
			○備考

(注)地盤調査及び試験の結果により、杭長さ、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4 . 地業工事

(1) 直接基礎

□ベタ基礎 ■布基礎 □独立基礎 試験掘 □有 ■無
深さ 設計G.L.-0.43m 支持層 -
長期許容支持力 30 KN/m² 載荷試験 □有 ■無

(2) 杭基礎 支持層

基礎	材料	施工法	備考
□RC □PRC	PRC(□I型□II型□III型)	□打込み	
□PHC □PSC	PHC(□A種□B種□C種)	□埋込(セメントミルク工法)	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □STR400	□	
□SC杭		□	

杭仕様 □施工計画書承認 □施工結果報告書
試験杭 (□有 □無) (□打ち込み □載荷 □孔型測定) 本
杭径(mm) 設計支持力(kN) 杭の先端の深さ(m) 本数 特記事項

(3) 地盤改良

□柱状地盤改良杭 φ L= n(基礎下)
設計基準強度 Fc= KN/m²
固化材添加量 KN/m³(六価クロム低減型)
□土間コンクリート下地盤改良 厚さ
固化材添加量 KN/m³

本構造設計記仕様書はコンクリートの設計基準強度（F_c）が36 N/mm²以下に適用する。

(1) コンクリート

■

コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除きJASS5（2009年度版）による。

■

耐久設計基準強度 ■短期 □標準 □長期 □超長期

■

セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

■

調査計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。

■

寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たっては、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。

■

フレックション・トの塩化物含有率は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定値を用いて、試験結果の記録及び測定器の表示部と一致の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。

■

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

■

構造物コンクリートについて、現場の圧縮強度試験方法は、JASS5T-603によることとし、供試体は標準養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み口ごととする。標準養生供試体の代わりに現場水中養生供試体に、コア供試体の代わりに現場封かん養生供試体によることができる。

■

また、打ち込み量が150mmを超える場合は、150mm ごとまたは、その端数ごと1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の連続棒からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1当たり6本とし、そのうち4適用に3本を用いる。

■

ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事することとし、なお、供試体縦断中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋

■

鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は標準図に記載されている事項を除き、JASS5（2009年度版）による。

■

鉄筋の加工方法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。

■

D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、(社)日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

■

ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同日に施工した圧接箇所ごと（200箇所程度）に1回行い、1回の試験は5本以上とする。

□

柱の帯筋（H O P P）の加工方法は、□H型（タガ型） □V型（溶接型） □S型（スパイラル型）とする。

■

コンクリート及び鉄筋の試験は第三者試験機関で行うこと。
試験機関名 工事監督者の指示による。
代行業者名 工事監督者の指示による。
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を行う者をいう。

(3) 型枠

■

材料 合板厚 12mmを標準とする。

■

施工 JASS5による。

■

型枠存置期間

保続時間 (月)	せき板 基礎、梁、柱、壁	垂直系ポ ルトランドセメント	垂直系ポ ルトランドセメント
15以上	2	3	
5~15	3	5	
5未満	5	8	

コンクリートの圧縮強度 5.0 N/mm²

注）上表以外のセメントを使用する場合は工事監督者の指示による。

(4) 工事監督者の承認を必要とするもの

■

製作工場 □製作要領書 □工作図 □施工計画書

■

認定または登録工場（大臣認定 R グレード） 都登録

■

材料規格証明書または試験成績書

□

鋼材 □高力ボルト □

■

社内検査表 □

(2) 工事監督者が行う検査項目

■

印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること）

■

製品検査 □

■

建方検査 □

(3) 接合部の溶接は下記によること

■

日本建築学会「鉄工工事技術指針・工事現場施工編」

■

日本建築学会「溶接作業基準、解説 I II III IV V VI VII VIII IX

■

東京アーク溶接工事管理基準（建築構造設計第12章）

■

鉄道省等の建築物の工事に關する東京都取組要綱（建築構造設計第12章）

(4) 接合部の検査

■

溶接部の検査（検査結果は後日工事監督者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社内	第三者	工事監督者	
■すみ肉溶接部	外觀検査（ ）	100%	0%	0%	平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
	□	％個	％個	％個	
□	外觀検査（ ）				
□	第三者検査機関名	(知事登録 号)			

第三者検査機関名とは、建築主、工事監督者または工事施工者が、受入れ検査を行わせるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部分については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外觀検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2) 却り等を受けた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対処策を建築主等に報告すること

□

破さ試験 □ 示温塗料塗布

□

高力ボルトは「JIS B1180の高力ボルト」を標準とする。

(5) 防錆塗装

■

工場における躯体鉄骨塗装は、浸漬塗装又は粉体塗装とする。

■

上記以外の防錆塗装処理に使用する防止ペイントはJIS K5674(2回塗り)を標準とする。

(6) 耐火被覆の材料 □

7 . 設備関係

■

特に設けられた規定は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。）

□

設備関係の案台及び基礎については工事監督者の承認を得ること。）

□

床スラブ内に設備配管等を埋込場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以下かつ5cm以上を原則とする。

■

建設設備(昇降機を除く。) 、建設設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

□

屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

□

煙突の屋上突出の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支けたものを除き、90cm以下とすること。

□

煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。

■

建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

■

風压、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

■

建築物の部分を通過して配管する場合においては、当該貫通部に配置スリ－ブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

■

管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

■

管を支出し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

■

給湯設備にあてはめ、平成12年建設省告示第1388号第5により、風压、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

□

法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風压並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

■

構造耐力上主要な部分となる部材に設ける開口部の大きさ及び形状、ならびに手すり等は、風压、土圧及び水圧ならびに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

8 . その他

■

諸官房への届出書類は遅滞なく提出すること。

■

各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。

■

必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

[illegible]

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
- d・・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D・・・部材の成 R・・・直径
- φ・・・間隔 f・・・半径 E・・・中心線 lo・・・部材間の内法距離 ho・・・部材間の内法高さ
- ST・・・あばら筋 H.O.D.P・・・帯筋 S.H.O.D.P・・・補強帯筋 φ・・・直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(4d以上)	8d以上(4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90° 以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ D19以上 16φ D16以下	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	19φ～25φ D19～D25 28φ～32φ D29～D38	6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

直線定着の長さL2			フック付き定着の長さL2h	
コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	SD295A SD295B	SD345	SD295A SD295B	SD345
18	40d	40d	30d	30d
21	35d	35d	25d	25d
24～27	30d	35d	20d	25d

下端筋の定着の長さ

コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	直線定着の長さL3		フック付き定着の長さL3h	
	鉄筋の種類	下端筋	鉄筋の種類	下端筋
18～60	SD295A SD295B SD345	小梁	スラブ	
		20d	10dかつ 150mm以上	10d

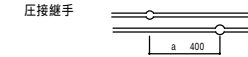
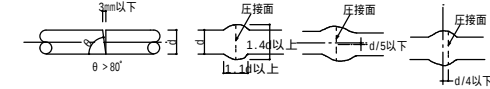
異形鉄筋の重ね継手の長さ

直線定着の長さL1			フック付き定着の長さL1h	
コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	SD295A SD295B	SD345	SD295A SD295B	SD345
18	45d	50d	35d	35d
21	40d	45d	30d	30d
24～27	35d	40d	25d	30d

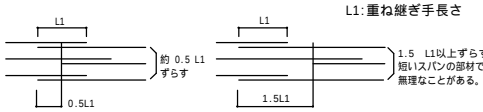
継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の重ね継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

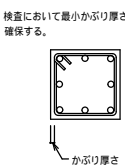


隣接鉄筋の重ね継手のずらし方



(4) かぶり厚さ (単位:mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



部 位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 主筋力壁 柱	30 20 40 (1) 30 (20) 40
	屋 内	30
	屋 外	40 (1) 30 (2)
	構 造 壁	40 (4)
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁 (立上り部は除く)	50 40 (4)
	基礎・梁・壁	70 60

[注] (1) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(2) () 内は仕上げがある場合。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1.5d以上粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

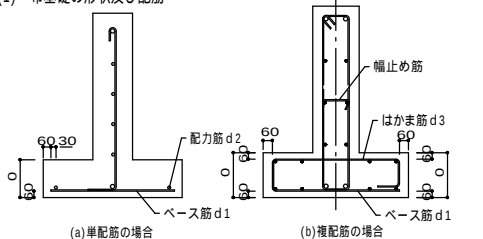


(6) 鉄筋のフック (a～fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける)

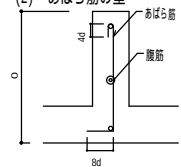
- a. 丸鋼 b. あばら筋, 帯筋 c. 埋込の鉄筋
- d. 柱、梁 (基礎梁は除く) の出すみ部分の鉄筋
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 基礎

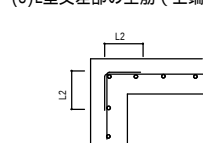
(1) 布基礎の形状及び配筋



(2) あばら筋の型



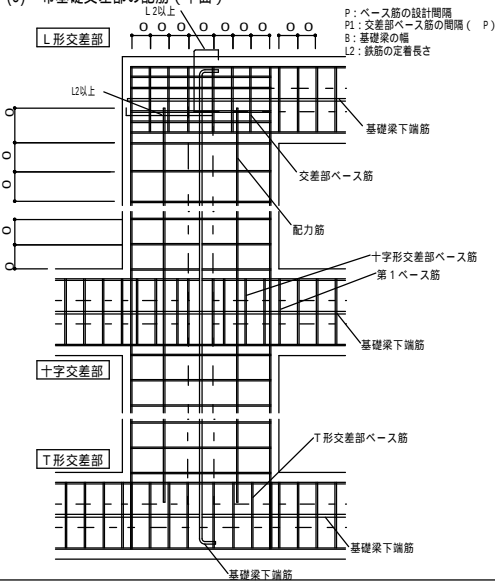
(3) L型交差部の主筋 (上端) の定着



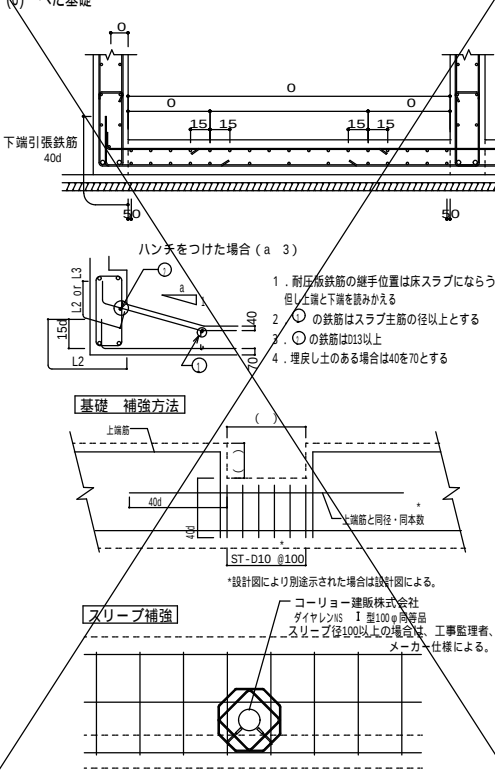
(4) 腹筋の本数

腹筋	D<600 600 D<900 900 D<1200 1200 D	不要 1-D10 1段 2-D10 2段 D10を@300以内
----	--	--

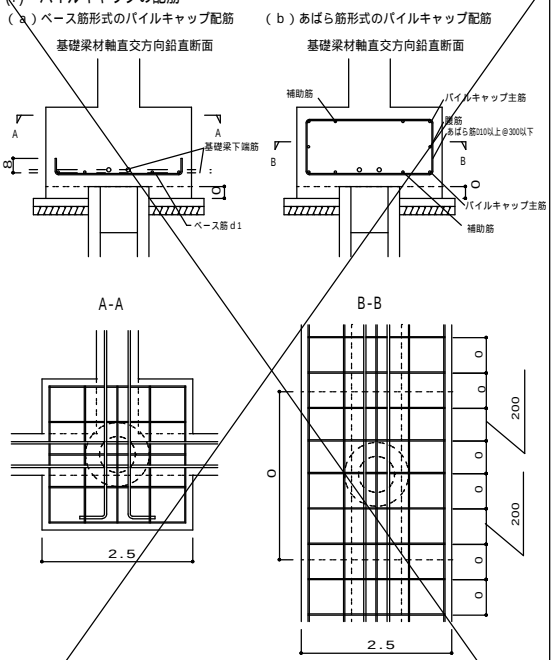
(5) 布基礎交差部の配筋 (平面)



(6) ベタ基礎



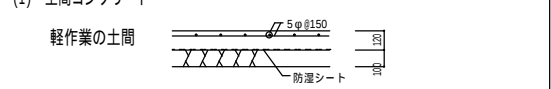
(7) バイルキャップの配筋



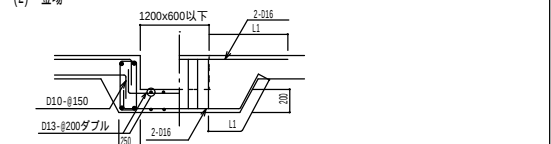
* 1 杭ののみ込長さは設計図書による
p: あばら筋の設計間隔 (300mm以下)
φ: 杭直径

5. 床板

(1) 土間コンクリート

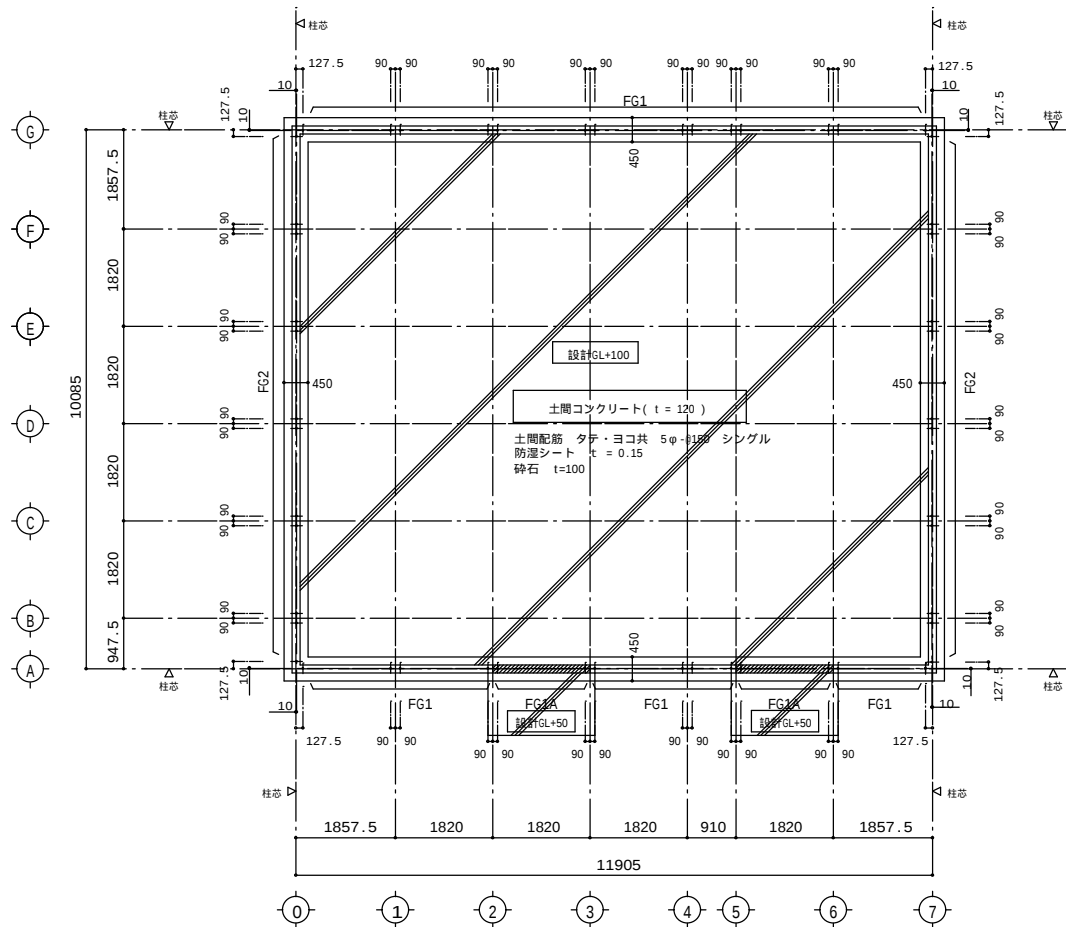


(2) 釜場



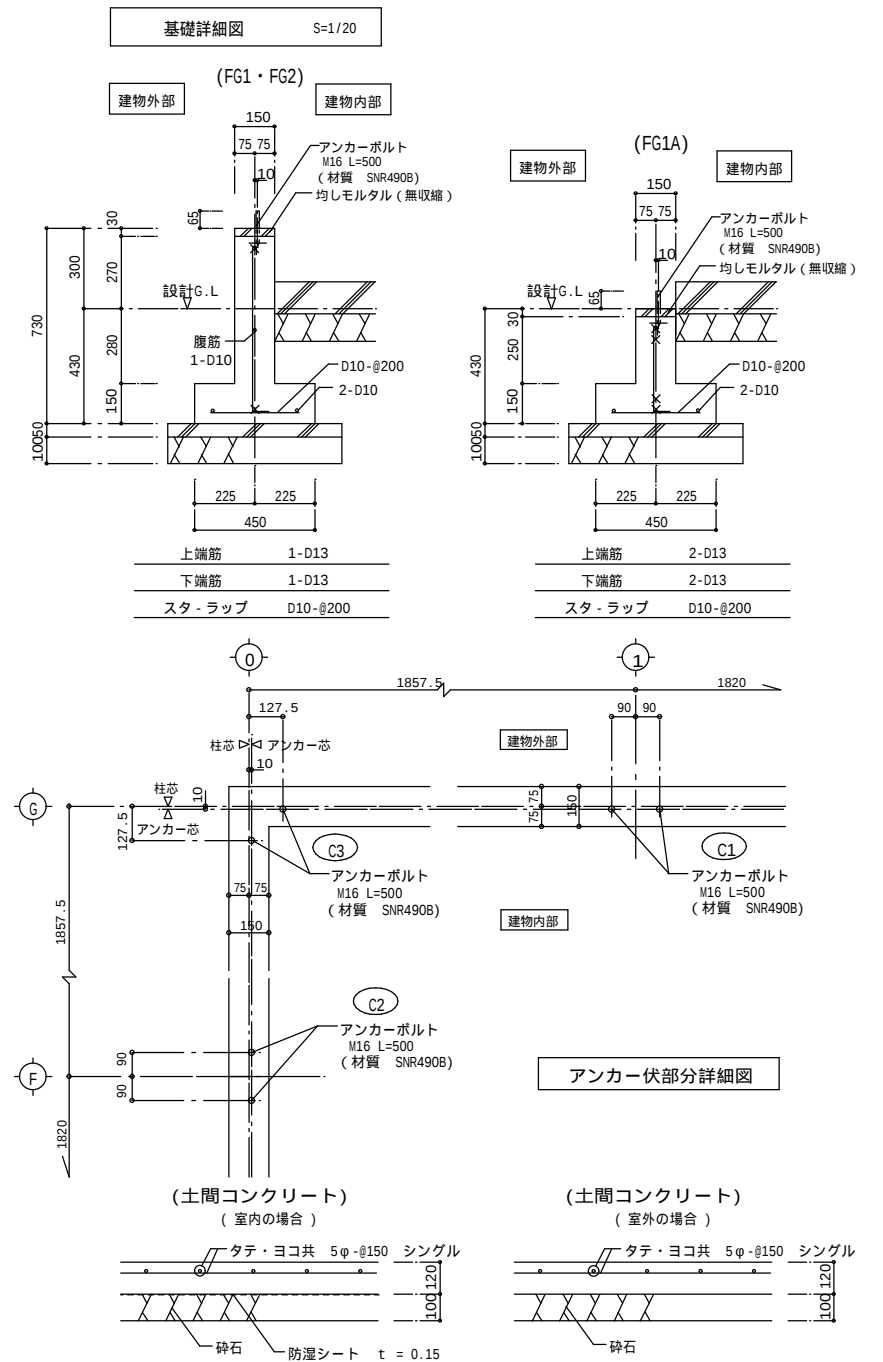
本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事	No. R02045		管理幹 船田 和 美	
	設計 R03_03		一般幹 二階堂 智 樹	
図名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図	図例 S-02		図例 S-02	
	株式会社 フケタ設計		図例 S-02	
代表取締役 三 関 嘉 男	一般幹 二階堂 智 樹		図例 S-02	
	TEL 0461(2)711111		図例 S-02	
専任幹事 佐々木 隆 夫	TEL 0461(2)711111		図例 S-02	
	TEL 0461(2)711111		図例 S-02	



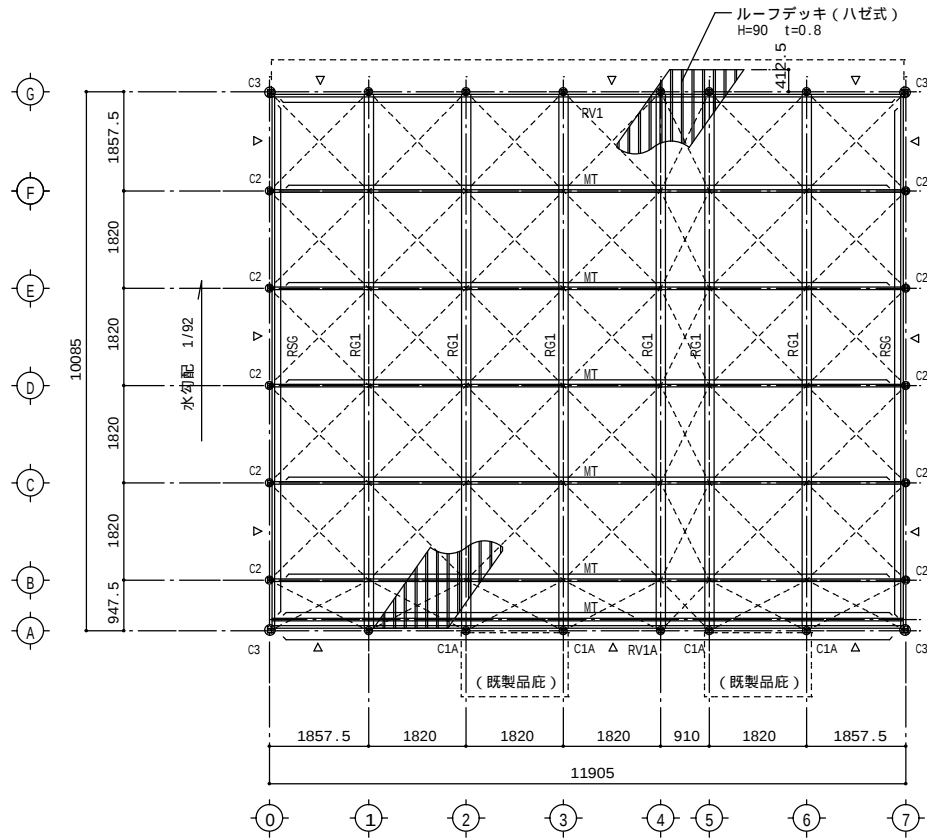
基礎伏図 S=1/100

- 特記なき限り
1. 基礎の根入れ深さは設計GL-430 とする。
2. の範囲は、土間コンクリートを示す。
3. 内は、土間コンクリート天端位置を示す。



本部長	管理幹	主幹	主査	担当

工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理幹士 棚田 和美
設計 R03.03		概算 R03.03		一般建築士登録番号 200667号
図面 基礎伏図・基礎詳細図		縮尺 1/100 1/20		建築士登録番号
株式会社 フケタ設計		S-04		一般建築士登録番号
代表取締役 三関 嘉男 一般建築士登録番号 89475		主査 元田 章太		建築士登録番号
本社 東京都目黒区大塚1-15-1番1号 TEL 03(622)8928		二級建築士登録番号 12749号		
埼玉事務所 埼玉県春日部市1-5-1番1号 TEL 048(527)2116				

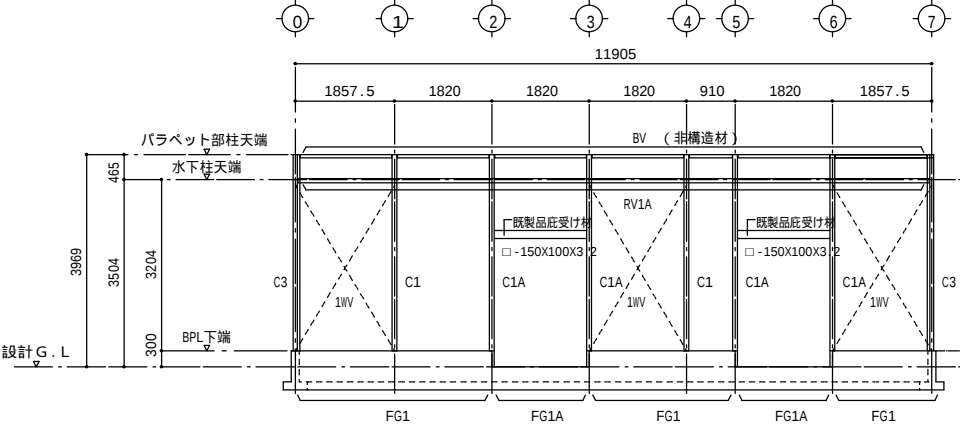


小屋梁伏図 S=1/100

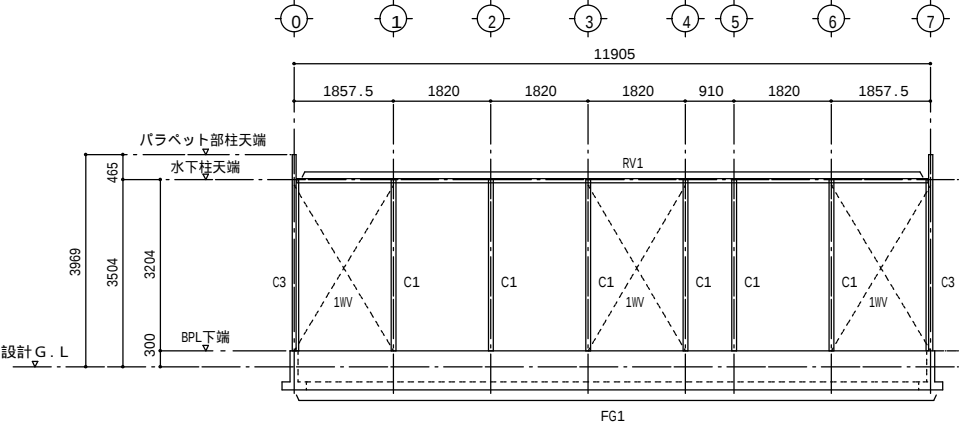
- 特記なき限り
1. 柱は、1階柱・梁は、小屋梁を示す。
 2. 柱は、C1 とする。
 3. 1階鉛直ブレース (1WV) とし、
両方向共 M12 とする
 4. 小屋ブレースは、RV (M12) とする。

本部長	管理幹	主幹	主査	担当

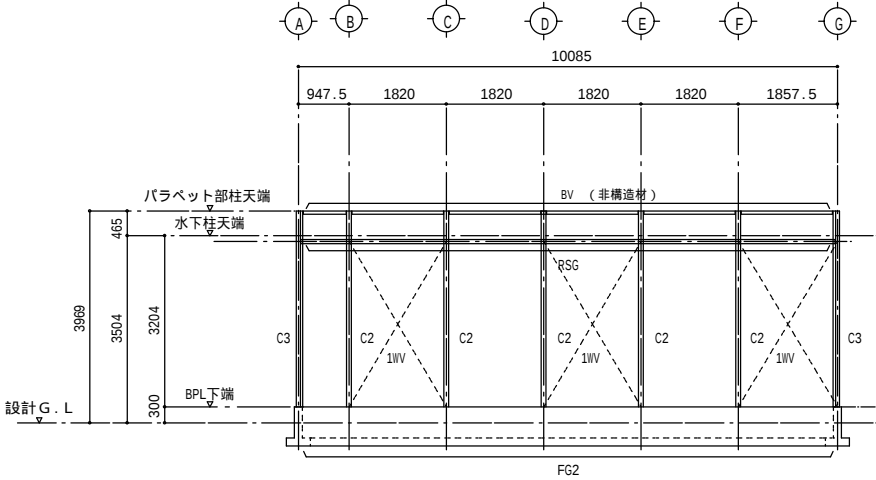
工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理棟主 柳田 和美
図名 小屋梁伏図		図計 R03.03	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	一般建築士登録番号 200667号
設計者 株式会社 フケタ設計		図面No. S-05	枚数 1	建築士登録番号 12749号
代表取締役 三関 嘉男		一般建築士登録番号 8947号	建築士登録番号 12749号	
本社 埼玉県川口市大宮1丁目1番1号		TEL 048(567)0008	埼玉県川口市大宮1丁目1番1号	
埼玉事務所 埼玉県川口市大宮1丁目1番1号		TEL 048(567)0116	埼玉県川口市大宮1丁目1番1号	



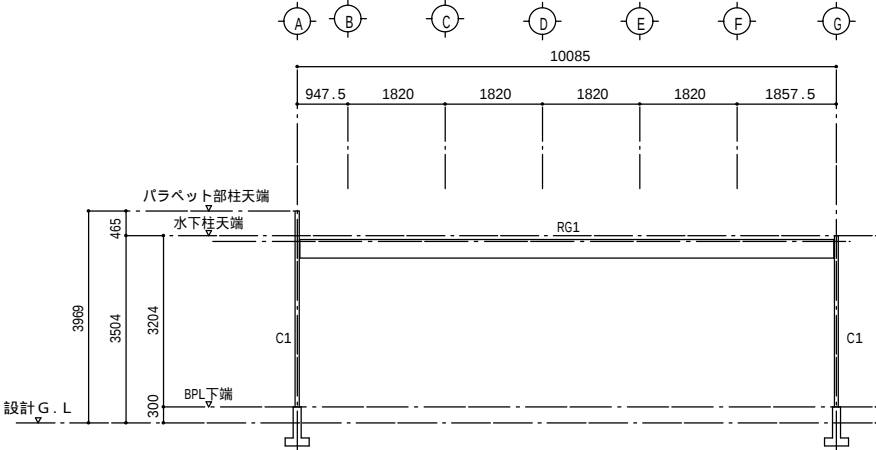
A 通り軸組図 S=1/100



G 通り軸組図 S=1/100



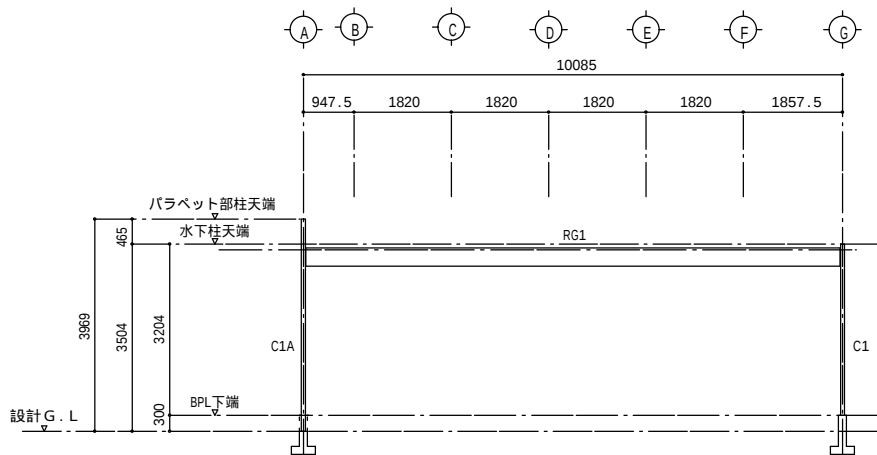
0 通り軸組図 S=1/100



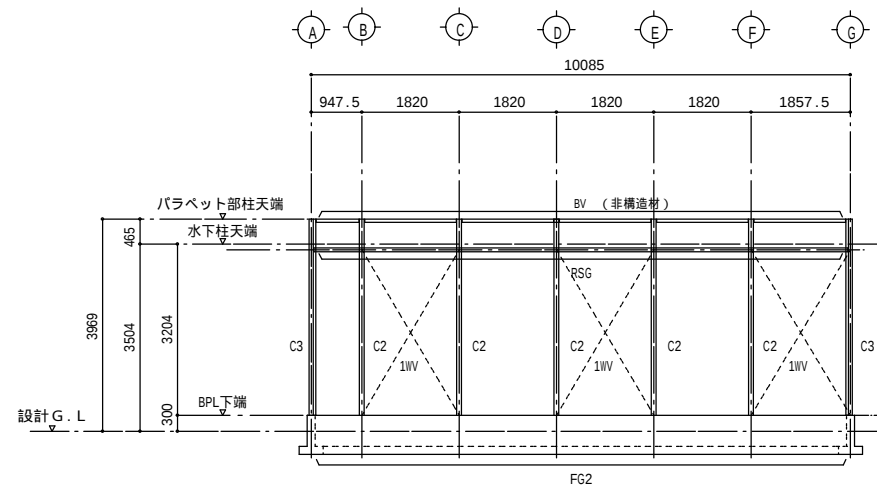
1・4 通り軸組図 S=1/100

本部長	管理幹	主幹	主査	担当

工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理棟主 藤田 和 美
図名 軸組図 - 1		設計 R03.03	確認 A1.1/50 A3.1/100	一般建築士登録番号 200667 号
株式会社 フケタ設計		図面No. S-06	監 査	一般建築士登録番号 元田 草 次
代表取締役 三 関 嘉 男 一般建築士登録番号 89479 号 本 社 名古屋市中区栄 1-1-1 番 4 号 TEL 03(622)38038 埼玉事務所 埼玉県春日部市栄 1-5-0 1 番 1 号 TEL 048(567)5116		監 査	監 査	二級建築士登録番号 12749 号



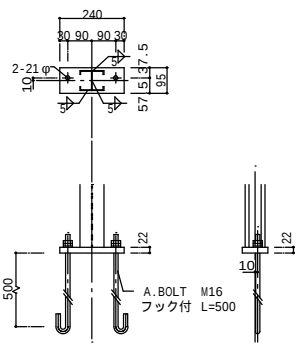
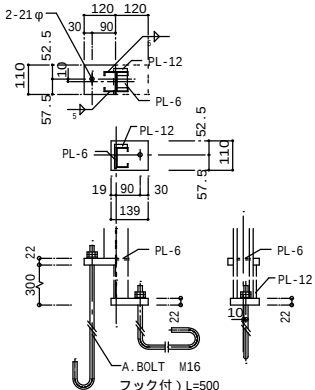
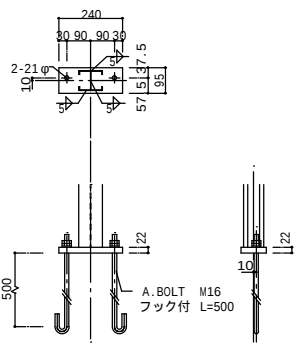
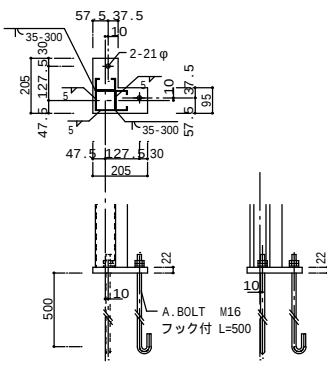
2・3・5・6 通り軸組図 S=1/100

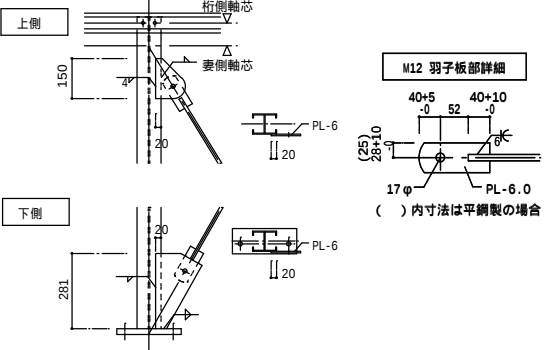


7 通り軸組図 S=1/100

本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

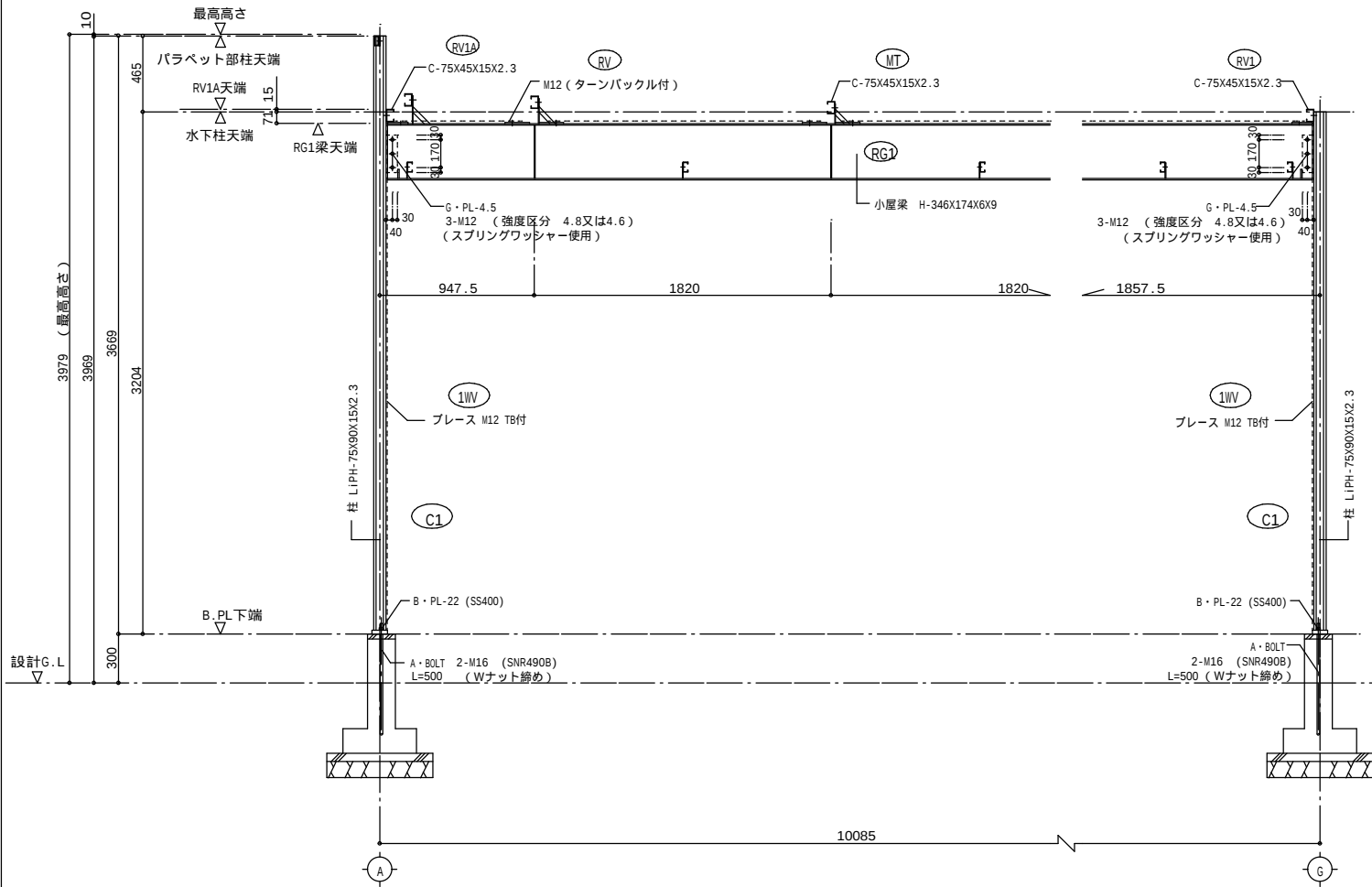
工 事 名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理建築士 柳 田 和 美 一般建築士登録番号 200667号	
図 名 軸組図-2		図 号 R03-03		一級建築士登録番号 200667号	
設計 株式会社 フケタ設計		縮 尺 A1:1/50 A3:1/100		建築士登録番号	
代表取締役 三 岡 嘉 男		一般建築士登録番号 89479		一級建築士登録番号	
本 社 埼玉県春日部市大宮1丁目1番1号		TEL 048(522)8028		建築士登録番号	
埼玉事務所 埼玉県春日部市大宮1丁目1番1号		TEL 048(527)0116		二級建築士登録番号 12749号	

構造符号/部位		C1：桁 柱		C1A：妻 柱		C2：妻 柱		C3：隅 柱								
断 面																
主材・材質	1階	LipH-75X90X15X2.3	SIWH400L	LipH-75X90X15X2.3	SIWH400L	LipH-75X90X15X2.3	SIWH400L	2C-75X45X15X2.3+□-75X75X2.3	SSC400 +STKR400							
柱脚	B.PL-22 (SS400) A.BOLT 2-M16 (SNR490B) 定着 L=500 (フック付) ダブルナット締め				B.PL-22 (SS400) A.BOLT 2-M16 (SNR490B) 定着 L=500 (フック付) ダブルナット締め				B.PL-22 (SS400) A.BOLT 2-M16 (SNR490B) 定着 L=500 (フック付) ダブルナット締め							
有効細長比 (圧縮材)	λ c = 118				λ c = 118				λ c = 118				λ c = 95			
備考	製作用部材記号 品番															

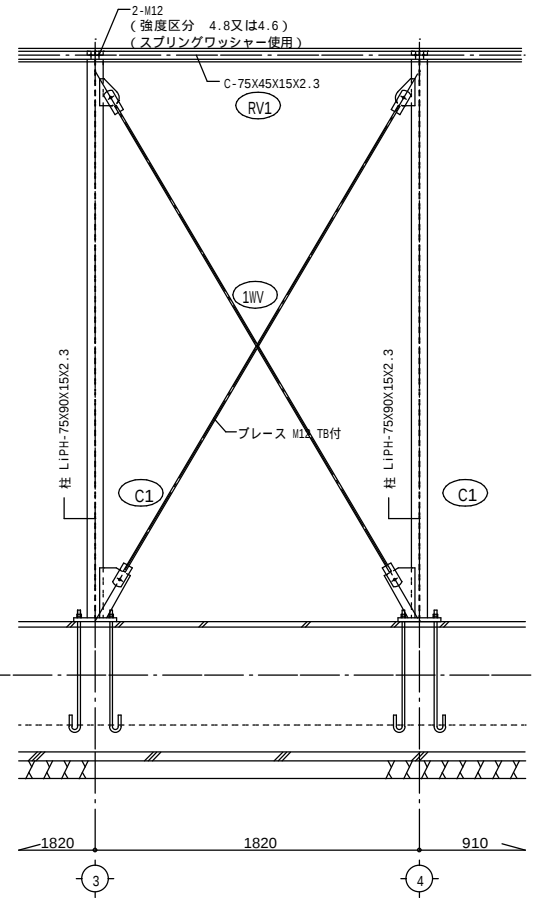
構造符号/部位		1WV：壁ブレース (M12)		
断 面				
主材・材質	M12 ターンバックル付き JIS規格 (JIS A5540)	丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B TB(パイプ式) STKN400W(B)		
接合部	ブレースシート t=6 1-M16 (強度区分 4.8又は4.6)			
有効細長比 (圧縮材)				
備 考	製作用部材記号 品番			

本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工 事 名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理幹 柳 田 和 美
図 名 部材リスト-2		設計 R03.03	確認 A3-1/10 A3-1/20	一級建築士登録番号 200667号
株式会社 フケタ設計		監製 S-09		一級建築士登録番号
代表取締役 三 尾 嘉 男 一級建築士登録番号 89475 本 社 松本県千歳市大森 1丁目1番1号 TEL 026(52)38028 埼玉事務所 埼玉県春日部市栄田 150-1番1号 TEL 048(56)70116		取 締	検 査	一級建築士登録番号 元 田 草 次 二級建築士登録番号 12749号



4 通り架構詳細図 S=1/30

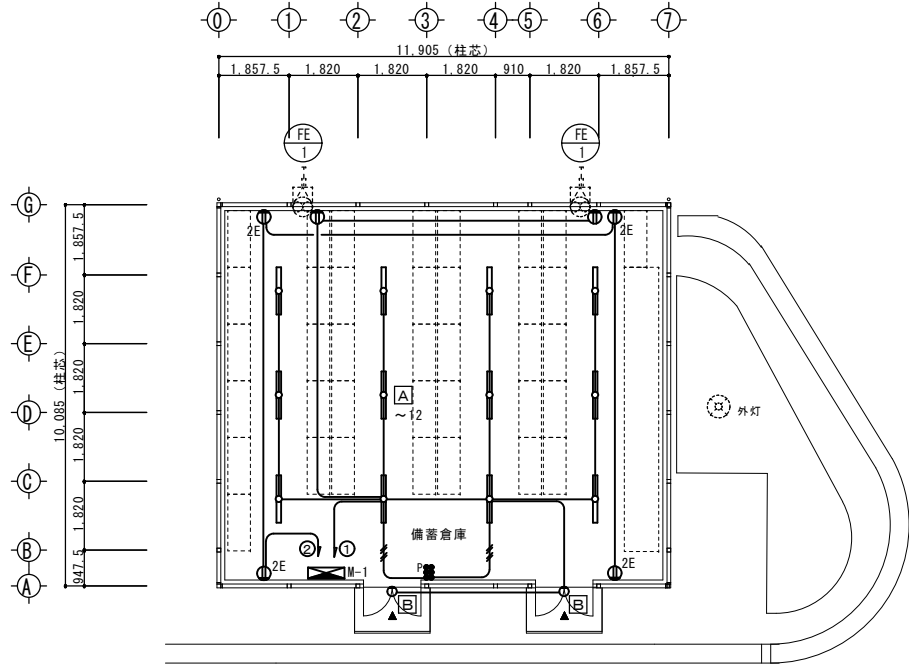
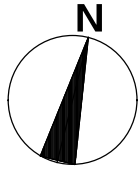


G 通り架構詳細図 S=1/30

(内視図)

本部長	管理幹	主幹	主査	担当

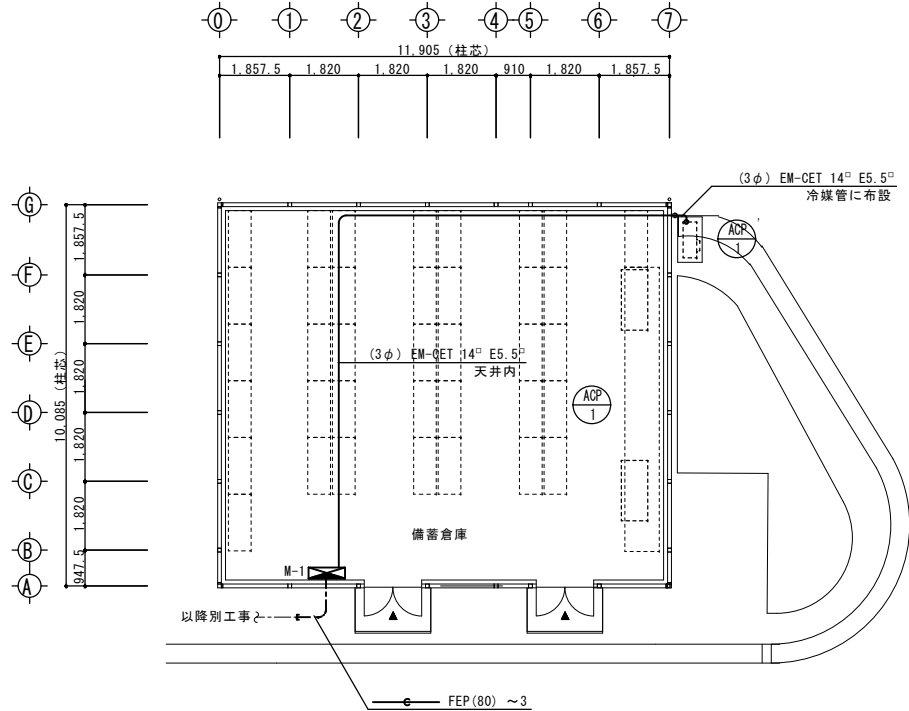
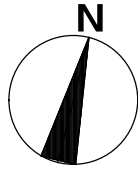
工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事		No. R02045		管理幹 柳田 和美
設計 R03.03		構内 A3.1/15 A3.1/30		一般建築士登録番号 200667 号
架橋詳細図		図面No. S-10		建築士登録番号
株式会社 フケタ設計		代表取締役 三宅 嘉男		一般建築士登録番号
本社 兵庫県三木市大久保町1丁目1番地		TEL 079(62)38028		建築士登録番号
神戸事務所 神戸市東灘区西宮町1丁目1番1号		TEL 046(56)70116		元田 草次
				二級建築士登録番号 12749 号



電灯設備図 S=1:100

・特記なき配管配線は下記とする。			
—————	EM-EEF 2.0 — 3C (内1C7-ス) ~1	天井内	電源部
—————	EM-EEF 2.0 — 2C ~2	天井内	スイッチ部
・立上り、立下り箇所等必要箇所はP F 管にて保護のこと。			

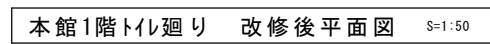
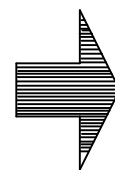
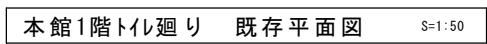
照明器具姿図		(参考図)	
A	直付型	B	外部ブラケット 防雨型
	LED 19.5W (3200lm) LSS9-4-30LN		LED 6.2W-1 LEDB-67301(S)同等品



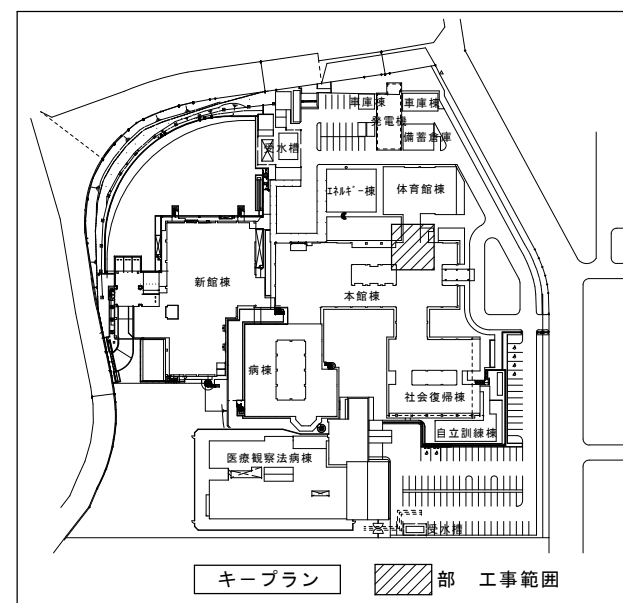
動力設備図 S=1:100

新設盤 負荷表											
幹線NO 及び 盤名称	電気方式	幹線 サイズ	主幹遮断器 容量 (AF/AT)	結線	分岐遮断器 容量 (AF/AT)	リレー 他	回路 NO	負荷容量 (VA)			備 考
								照明	コンセント	その他	
M-1 壁掛自立型 下部ダクト付											
(AC)	1φ3W 210/105V (1444V-標準圧電灯盤3灯)	EM-CET 22 [□]	100TB	●	ELB 2P 50/20		①	382			照明 換気
			MCB 3P 50/50		ELB 2P 50/20		②	400			コンセント
					ELB 2P 50/20		③	120			車庫棟
			MCB 3P 50/50		ELB 2P 50/20		④	300			倉庫
	RN: 1.462KVA SN: 0.700KVA 容量計: 2.162KVA				MCB 2P 50/30		⑤	960			発電機補機盤
			OLA	AXM	ELB 2P 50/20		○				ヨビ
					ELB 2P 50/20		○				ヨビ
					ELB 2P 50/20		○				ヨビ
----- 他ノレーダ -----											
(AC)	3φ3W 210V (1444V-標準圧動力盤3灯)	EM-CET 38 [□]	100TB	●	ELB 3P 50/50		◇	7.06KW	ACP-1		空調機
			MCB 3P 50/50		MCB 3P 225/150		◇	10.85KW + 7.00KVA			発電機補機盤
	容量計: 24.91KW				ELB 3P 50/20		◇				ヨビ
			OLA	AXM							

工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事 (電気設備工事)		No. R02086		管理建築士 梅田 和美	
図名 備蓄倉庫 電気設備図		設計 R03.03		一般建築士登録番号 200667号	
株式会社 フケタ設計		縮尺 A1:1/100 A3:1/200		従事する建築士	
代表取締役 三原 富男		図面No. E-02		一般建築士登録番号	
本社 埼玉県甲府市大字1丁目5番8号		承認		従事する建築士	
埼玉事務所 埼玉県熊谷市栗沢1501番1号1F		承認		元田 草太	
TEL 028(622)8928		TEL 048(567)0118		二級建築士登録番号 12749号	



内訳:既存分岐200V予備回路 MCB2P50/20A~1を
ELB2P50/20A(1E)~2に取替え今回に使用。



●コンボ設備改修後仕様

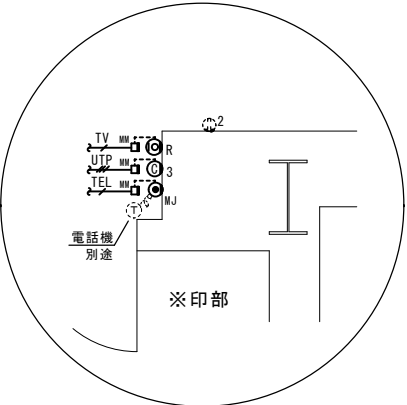
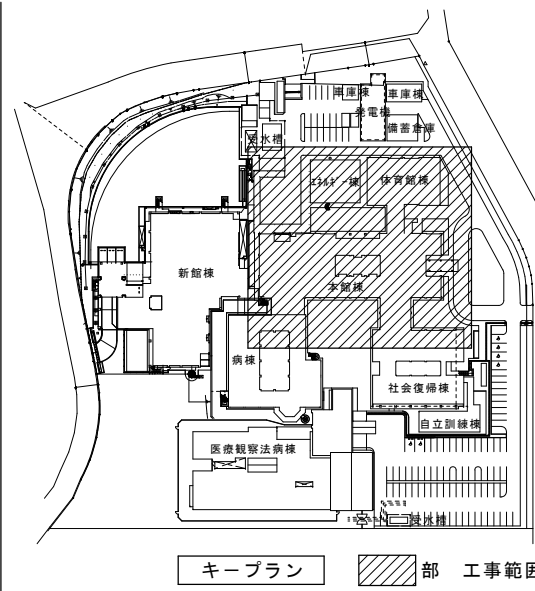
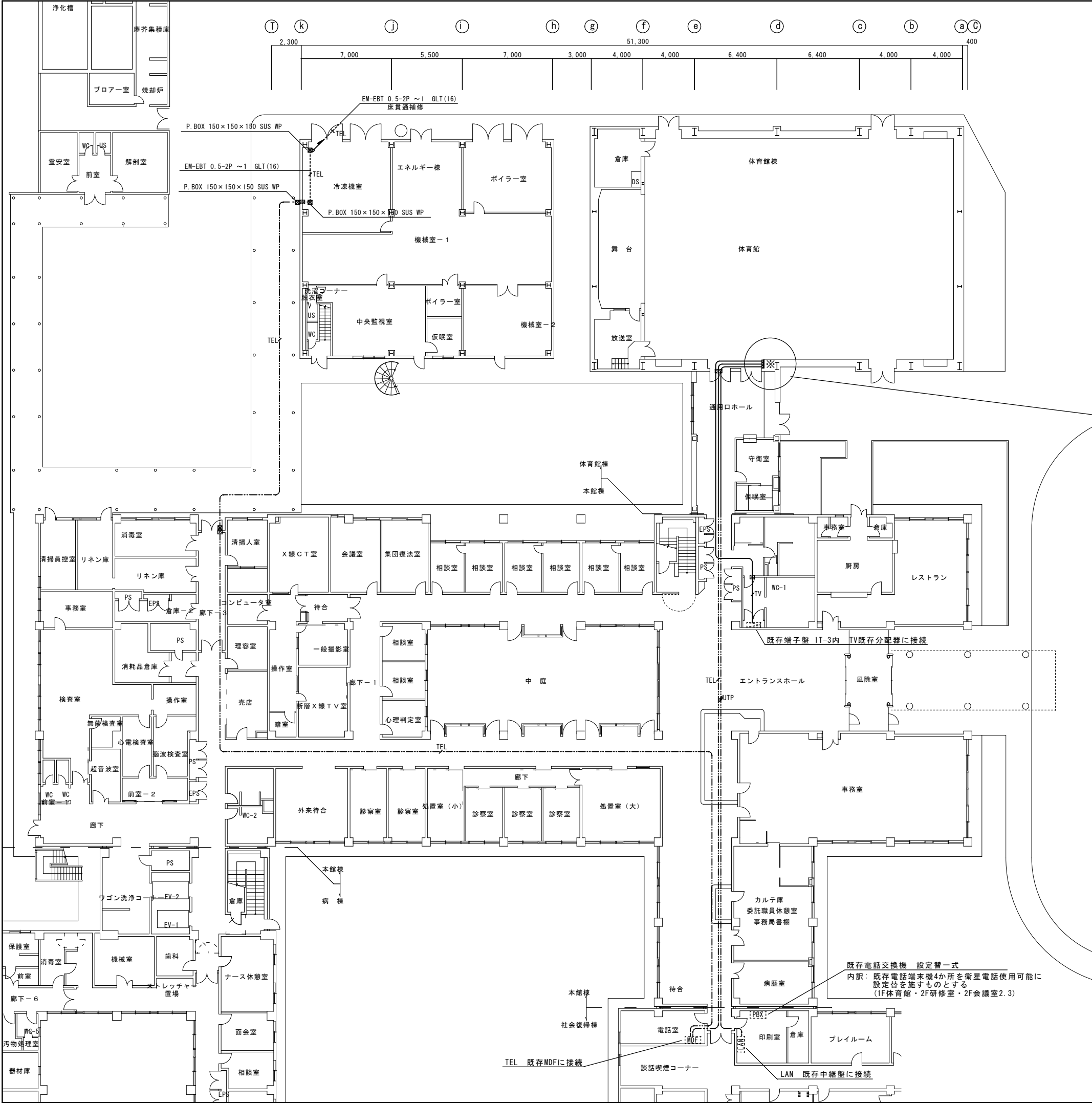
- ・図中、実線部の配線器具は全て新設とする。

・図中、改修後に於ける配線仕様は下記とする。

_____	EM-EEF 2.0-3C (内1C7-ス) ~1	天井内	新設
■-----	EM-EEF 2.0-3C (内1C7-ス) ~1	(MM-A)	露出部 新設
〘-----〙	既存		

- ・立上り、立下り箇所等必要箇所は、隠蔽部に於いては既存管にて保護、露出部に於いては~~ヌリ~~にて保護のこと。
- ・壁貫通処理部 (■) は、適切に施工すること。

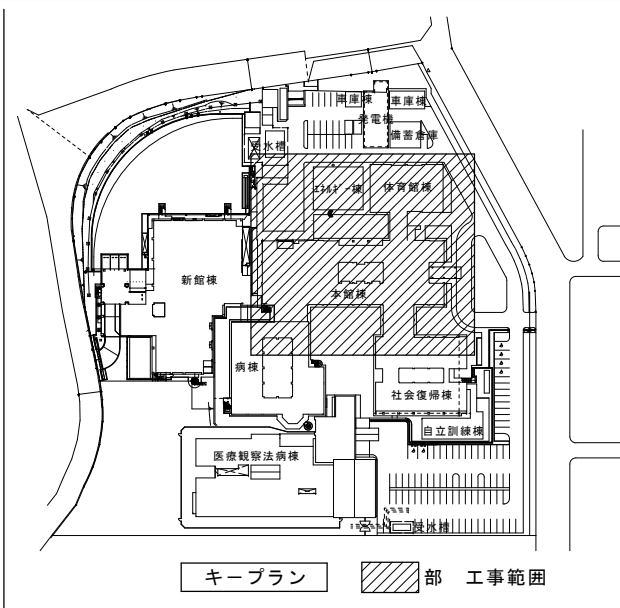
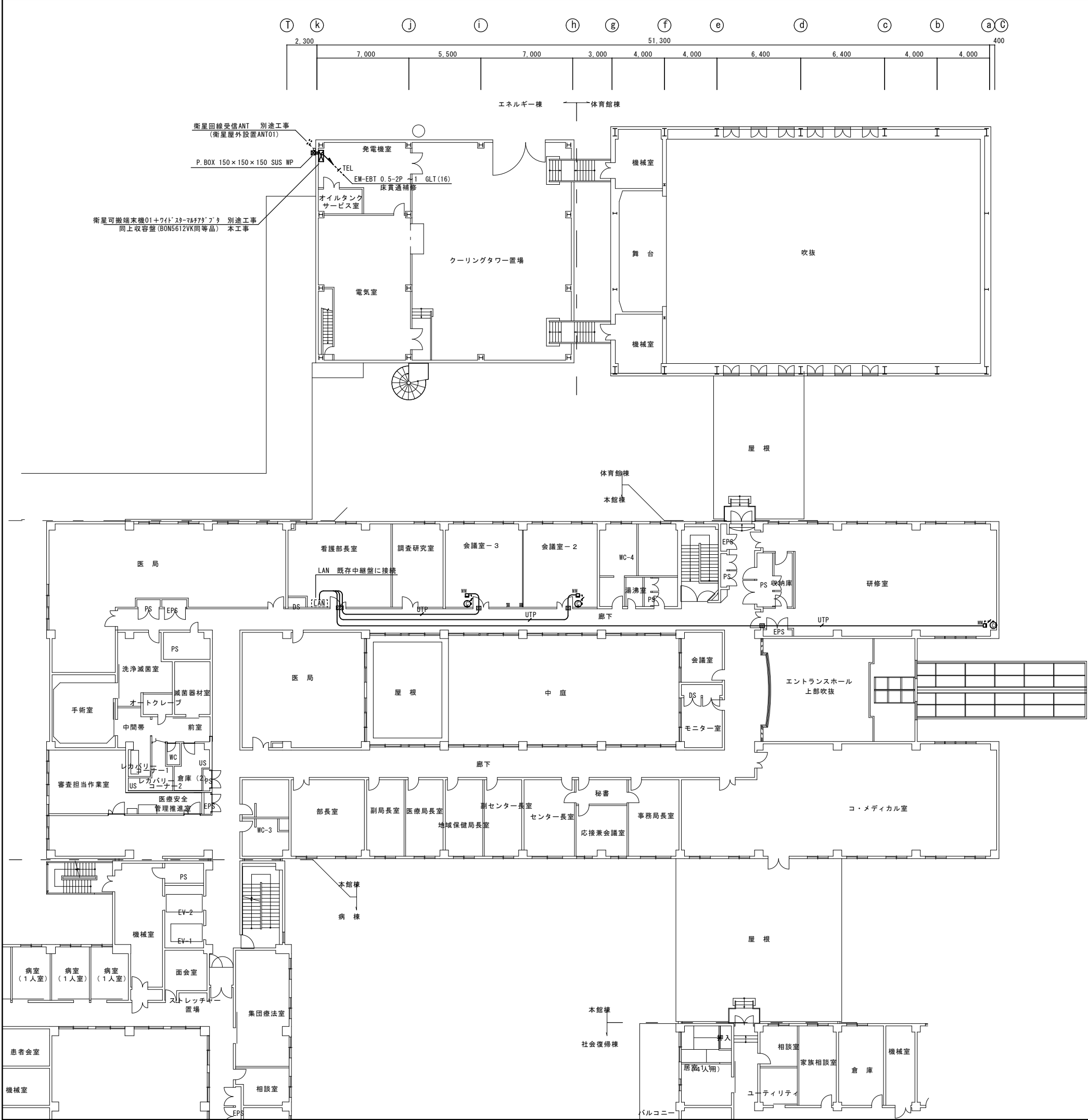
工事名	21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事 (電気設備工事)	N o.	R02086	管理建築士	棚田 和美
図名	本館1階トイレ改修 電気設備図	設計	R02. 07. 29	一級建築士登録番号	2006674
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士	
		図面N o.	E - 03	一級建築士登録番号	4
	株式会社 フケタ 設計	承認		従事する建築士	
代表取締役	三樂 富男 一級建築士登録番号 89479	検			
副代表取締役	橋本千景都市計画士17日登録番号 TEL 028(022)8928	図		元田 草太	
監理業務所	埼玉県熊谷市大宮町1-5-19 TEL 0485(562)0119 9号			二級建築士登録番号 127494	



・ 図中、特記なき配管配線は下記とする。		
構内交換設備		
TEL	EM-EBT 0.5 - 2P ~1	天井内
TEL	EM-EBT 0.5 - 2P ~1 (MM-A)	露出部
TEL	EM-EBT 0.5 - 2P ~1	ラック上
構内情報通信網設備		
UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~1	天井内
UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~3	天井内
UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~1 (MM-A)	露出部
UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~3 (MM-B)	露出部
UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~3	ラック上
テレビ共同受信設備		
TV	EM-S- 5G - FB ~1	天井内
TV	EM-S- 5G - FB ~1 (MM-A)	露出部
・ 防火区画貫通処理部 (●) は、適切に施工すること。		
・ 図中、配線器具仕様		
● MJ	電話用シガラジャック 1口用 金属プレート共	
● 3	情報用コネクタ CAT6 1口用 金属プレート共	
● 3	情報用コネクタ CAT6 3口用 金属プレート共	
● R	TV用直列ユニット 端末用 金属プレート共	

1階 平面図 S=1:150

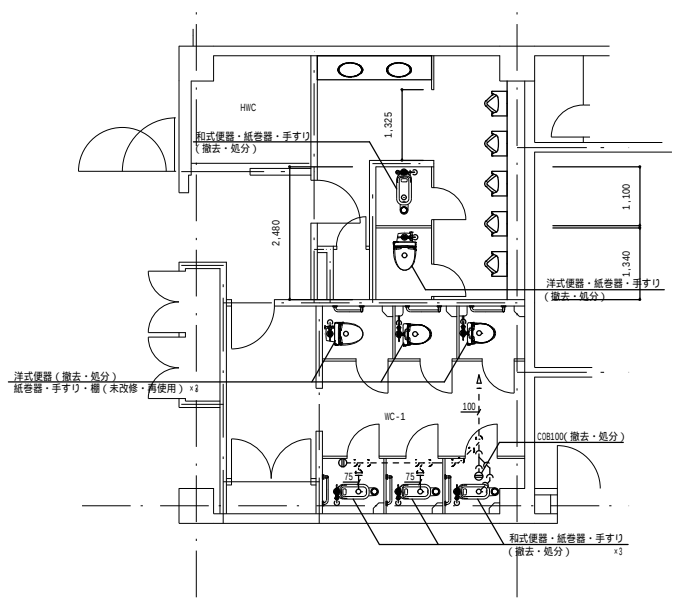
工事名 21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事 (電気設備工事)		No. R02086	管理建築士 柳田 和美
図名 既存1階 テレビ共同受信 構内交換・構内情報通信網設備図		設計 R03.03	一般建築士登録番号 200667号
株式会社 フケタ設計		縮尺 A1:1/150 A3:1/300	従事する建築士
代表取締役 三原 富男		図面No. E-04	一般建築士登録番号
本社 埼玉県中野市大字1丁目5番8号		承認	従事する建築士
埼玉事務所 埼玉県熊谷市栗沢1501番1号1F		図	元田 草太
TEL 028(622)8928			二級建築士登録番号 12749号
TEL 048(567)0118			



・ 図中、特記なき配管配線は下記とする。			
構内交換設備			
TEL	EM-EBT 0.5 - 2P ~1	天井内	
■ TEL	EM-EBT 0.5 - 2P ~1 (MM-A)	露出部	
■ TEL	EM-EBT 0.5 - 2P ~1	ラック上	
構内情報通信網設備			
UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~1	天井内	
UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~3	天井内	
■ UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~1 (MM-A)	露出部	
■ UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~3 (MM-B)	露出部	
■ UTP	EM-UTP CAT6 - 4P ~3	ラック上	
テレビ 共同受信設備			
TV	EM-S- 5C - FB ~1	天井内	
■ TV	EM-S- 5C - FB ~1 (MM-A)	露出部	
・ 防火区画貫通処理部 (■) は、適切に施工すること。			
・ 図中、配線器具仕様			
● J	電話用シールドジャック 1口用	金属プレート共	
● 3	情報用コネクタ CAT6 1口用	金属プレート共	
● 3	情報用コネクタ CAT6 3口用	金属プレート共	
● R	TV用直列コネクタ 端末用	金属プレート共	

2階 平面図 S=1:150

工事名	21精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事 (電気設備工事)	No.	R02086	管理建築士	柳田 和美
図名	既存2階 構内交換・構内情報通信網設備図	設計	R03.03	一般建築士登録番号	200667号
株式会社 フケタ設計		縮尺	A1:1/150 A3:1/300	従事する建築士	
代表取締役	三原 富男	一般建築士登録番号	80479	図面No.	E-05
本社	埼玉県熊谷市大字1丁目5番8号	TEL	028(622)8928	従事する建築士	元田 草太
埼玉事務所	埼玉県熊谷市東通1501番1号1F	TEL	048(567)0118	一般建築士登録番号	
		承認		二級建築士登録番号	12749号



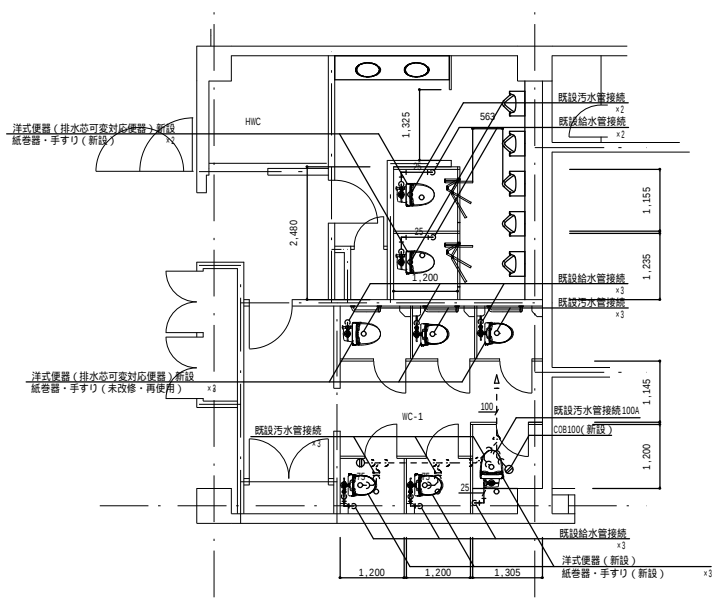
本館トイレ平面図 (改修前)

凡 例		
記 号	記 号	仕 様
———	給 水 管 (給用水)	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-V4)
———	汚 水 管	排水用鉄管

女子便所				
名 称	型 式	個 数	備 考	
洋式便器	本体、洗浄便座、FV	3	撤去・処分	
和式便器	C-750VC、FV、紙巻器	3	撤去・処分	
手すり		3	撤去・処分	

男子便所				
名 称	型 式	個 数	備 考	
洋式便器	本体、洗浄便座、FV	1	撤去・処分	
和式便器	C-750VC、FV、紙巻器	1	撤去・処分	
手すり		2	撤去・処分	

(注意事項) 1. 和風大便秘器撤去後の床補修は建築工事とする。
2. 図中、特記無き業種部分は全て撤去・処分とする。



本館トイレ平面図 (改修後)

凡 例 (改修)		
記 号	名 称	仕 様
———	給 水 管	ステンレス鋼管 (既設継手) JIS-G-3448
———	汚 水 埋 設 管	硬質塩化ビニル管 (VP) JIS-K-6741
———	排 水 器 具 接 続 管	硬質塩化ビニル管 (VP) JIS-K-6741

衛 生 器 具 表 (改修)					
名 称	参考型番	付 属 品 品 番	内 容	合 計	備 考
洋風大便秘器	CFS494MCHRS	TCF5554P、TH484V3	排除口付パブリックコンパクト便器 (排水可変対応便器)、 フラッシュバルブ (床給水)、洗浄便座ふたなし、給水管壁固定、他一式	5	2 3 AC100V 410W
洋風大便秘器	CFS494CHRS	TCF5554P、TH484V3	排除口付パブリックコンパクト便器 (排水可変対応便器)、 フラッシュバルブ (床給水)、洗浄便座ふたなし、給水管壁固定、他一式	3	3 AC100V 410W
棚付二連紙巻器	YH702			5	2 3
L型手すり	T1138L9		ステンレス製、固定金具×3	5	2 3
棚	建築工事			5	2 3
荷物置場	建築工事			5	2 3

(注意事項) 1. 図中、特記無き業種部分は全て新設とする。
2. 新設衛生器具接続は既設排水管及び既設給水管を延長の上接続する事。

工 事 名
2 1 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事

概 算
本館トイレ 詳細図

施 工 者
株式会社 フケタ設計

代表取締役
三 塚 嘉 男

TEL
03(567)20130

TEL
045(567)20130

図 号
R 0 2 0 4 5

図 名
R03_03

図 尺
A1:1/50 A3:1/100

図 種
M - 0 3

系 統
給 水

種 別
給 水

管理棟主
藤 田 和 美

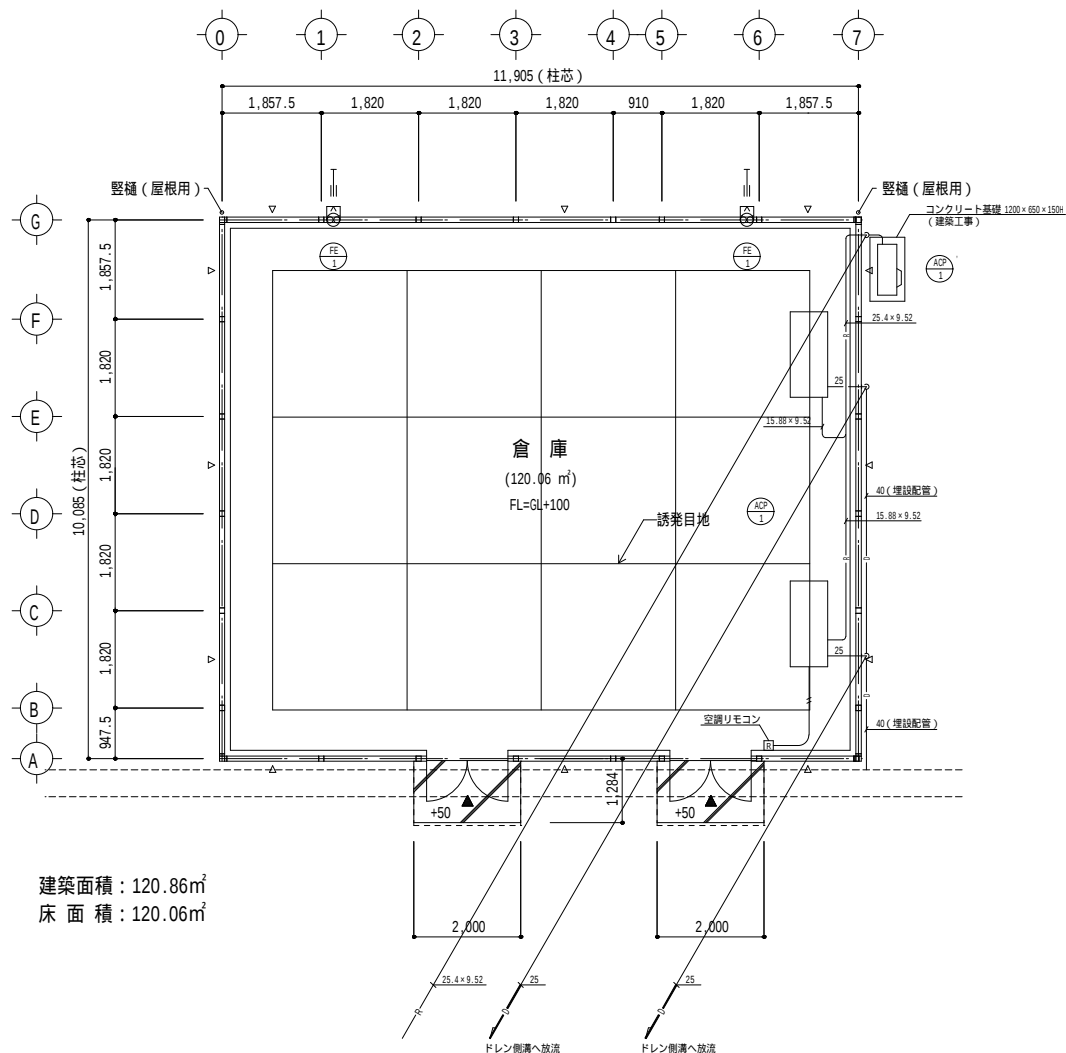
一般建築士登録番号 2 0 0 6 6 7 号

図書棟主
佐 藤 孝 一

一般建築士登録番号

元 田 嘉 次

二級建築士登録番号 1 2 7 4 9 号



凡 例		
記 号	名 称	仕 様
—R—	冷 媒 管	冷媒用被覆銅管 (被覆厚 ガス管 20mm , 液管 10mm)
—D—	ド レ ン 埋 設 管	硬質塩化ビニル管 (VP) JIS-K-6741
—D—	ド レ ン 出 管	配管用炭素鋼々管 (SP-1) JIS-G-3452

空調機器表											
記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量				設 置 場 所	台 数	備 考 (参考型式)		
			相	V	W	kW					
ACP-1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	天吊型 ツイン (冷房専用)					倉庫	1	PCGX-PBKKY 基礎 (建築工事)		
		冷房能力 20.0 kW 消費電力 7.06 kW									
		FAN (室外機) 0.15×2 kW	3	200	0.30						
		COMP (室外機) 4.7×1 kW	3	200	4.7						
		付属品: 防振吊金具、リモコン共									

換 気 機 器 表											
記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量				設 置 場 所	台 数	備 考 (参考型式)		
			相	V	W	KW					
FE-1	換 気 扇	格子タイプ (電気式シャッター) 20cm×468x31H 付属品: SUS 製ウェザーカバー、防虫網、取付枠共	1	100	11.5		倉庫	2	EX-20EX8-C		

工 事 名 2 1 精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備建築工事				No. R 0 2 0 4 5		管理棟主 藤 田 和 美	
備蓄倉庫 空調・換気平面図、機器表				設計 R03.03		一級建築士登録番号 2 0 0 6 6 7 号	
株式会社 フケタ設計				縮尺 A1:1/50 A3:1/100		従事する建築士	
代表取締役 三 柴 嘉 男 一級建築士登録番号 8 9 4 7 9 ※ 社 址 熊本県宇都宮市外倉 1 5 5 1 番 2 号 TEL 038(62)28038 竣工事務所 埼玉県熊谷市東 1 5 5 1 番 1 号 TEL 048(567)0118				図面 No. M - 0 4		一級建築士登録番号	
				系 統		従事する建築士	
				部 門		元 田 嘉 次	
						二級建築士登録番号 1 2 7 4 9 号	